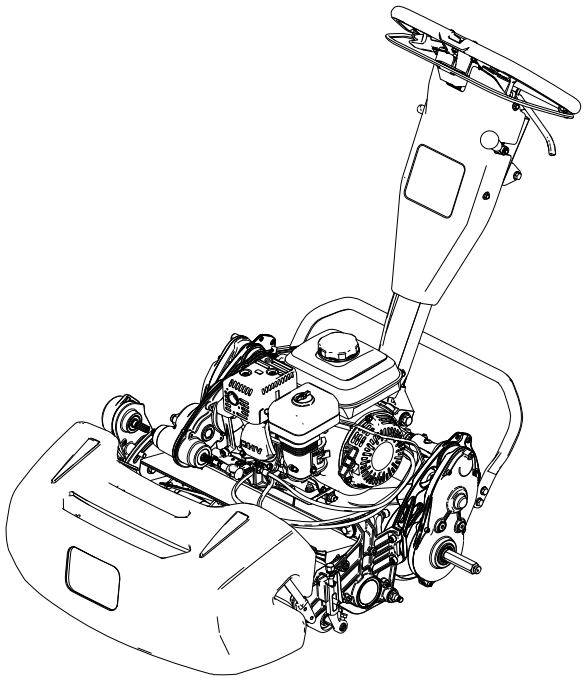
オペレーターズマニュアル

Greensmaster® 1018、1021、および1026 グリーンスモア



モデル—シリアル番号範囲

04820—414000000 およびそれ以上
04830—414000000 およびそれ以上
04840—414000000 およびそれ以上

3460-883A

CE UK CA
原本の翻訳 (JA)

3460-883 A

免責事項と規制情報

この製品は、関連するEU規制に適合しています。詳細については、DOC シート□規格適合証明書□をご覧ください。

カリフォルニア州の森林地帯・潅木地帯・草地などでこの機械を使用する場合には、エンジンに同州公共資源法第4442章に規定される正常に機能するスパークアレスタが装着されていること、エンジンに対して森林等の火災防止措置をほどこされていることが義務づけられており、これを満たさない機械は、第4442章または4443章違犯となります。

エンジンの保守整備のため、および米国環境保護局□EPA□並びにカリフォルニア州排ガス規制に関連してエンジンマニュアル を同梱しております。エンジンマニュアルはエンジンのメーカーから入手することができます。

海抜 1,500 m 以上の**高地**でこの**製品**を**使用**する**場合**には、**高地用**ジェットが**必要**になります。**付属**のホンダエンジンのマニュアルを**参照**してください。

⚠ 警告

カリフォルニア州
第 65 号決議

カリフォルニア州では、この製品に搭載されているエンジンの排気ガスには発癌性や先天性異常の原因となる物質が含まれているとされております。

米国カリフォルニア州では、この製品を使用した場合、ガンや先天性異常などを誘発する物質に触れる可能性があるとされております。

© 2023—The Toro® Company
8111 Lyndale Ave So
Bloomington, MN 55044

連絡先□ www.Toro.com
Printed in the USA
禁無断転載

目次

免責事項と規制情報 2
章 1: はじめに 1–1
使用目的 1–1
ヘルプを求める 1–1
マニュアルの表記規則 1–2
章 2: 安全 2–1
安全に関する一般的な注意 2–1
安全および説明用デカール 2–1
章 3: 組み立て 3–1
カッティングユニットを調整し取り付ける 3–1
カッティングユニットを調整し取り付ける 3–1
カッティングユニットを調整し取り付ける 3–2
移動走行用シャフトを取り付ける 3–3
移動走行用車輪を取り付ける 3–3
集草バスケットを取り付ける 3–4
エンジン速度の調整 3–4
ハンドルハイトアジャスターのラッチボルトの調整 3–5
Chapter 4: Product Overview 4–1
各部の名称とはたらき 4–2
エンジンコントロール 4–6
Specifications 4–10
アタッチメントとアクセサリ 4–10
章 5: 運転操作 5–1
操作前 5–1
運転前の安全確認 5–1
毎日の整備作業を実施する 5–2
燃料 5–2
クリップレートの調整方法 5–3
走行ドラムの位置の選択 5–4
動作中 5–5
運転中の安全確認 5–5
エンジンの始動手順 5–6
芝刈りの概要 5–7
芝刈りのヒント 5–7
エンジンの停止手順 5–8
操作後 5–9
運転終了後の安全確保 5–9
運転終了後の整備 5–9
トランスミッションを切る 5–9
移動走行を行うとき 5–10
移動走行用車輪を取り付ける 5–10
移動走行用タイヤを使っての移動 5–11
移動用タイヤを取り外す。 5–11
トレーラへの積み込み 5–12
章 6: 保守 6–1
保守作業時の安全確保 2
推奨定期整備一覧表 3
始業点検表 4
メンテナンス前の手順 5
整備作業のための準備 5
エンジンメンテナンス 5

エンジンの安全事項 5
エンジンオイルの仕様 6
エンジンオイルの量を点検する 6
エンジンオイルの交換 7
エアクリーナの整備 7
点火プラグの整備 9
メンテナンスをコントロールする 10
走行ケーブルの調整 10
常用□駐車ブレーキの調整 11
リール制御ケーブルの調整 11
スロットルケーブルを調整する 12
カッティングユニットの保守 13
刃物を取扱う上での安全確保 13
カッティングユニットを取り付ける 14
カッティングユニットの取り外し 16
バックラッピング情報 17
章 7: 格納保管 7–1
格納保管時の安全確保 7–1
マシンの保管 7–1
Toro保証
カリフォルニア州プロポジション65に関する警告情報

使用目的

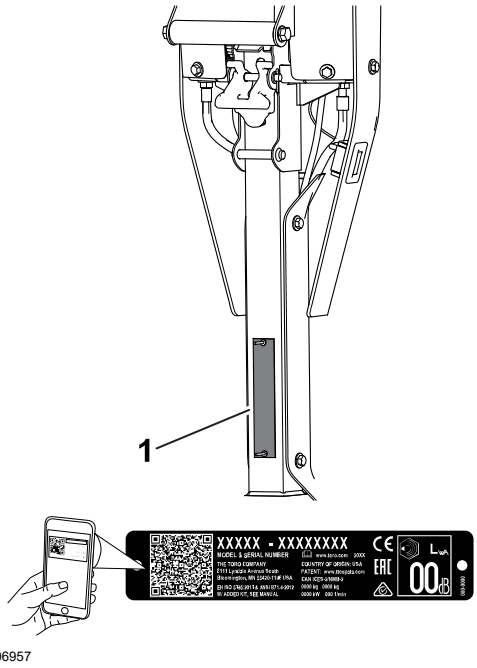
この機械はリール式の回転刃を使用する歩行型の芝刈り機であり、そのような業務に従事するプロのオペレータが運転操作することを前提として製造されています。この製品は、適切な管理を受けている芝生の刈り込みに使用することを主たる目的とする機械です。この機械は本来の目的から外れた使用をすると運転者本人や周囲の人間に危険を及ぼす場合があります。

この説明書を読んで製品の運転方法や整備方法を十分に理解し、怪我や製品の損傷を避けるようにしてください。この製品を適切かつ安全に使用するのはお客様の責任です。

ヘルプを求める

製品の安全性と操作に関するトレーニング資料、アクセサリ情報、販売店の検索、または製品の登録については、www.Toro.comをご覧ください。

サービス、純正部品Toro、または追加情報が必要な場合は、製品のモデル番号とシリアル番号を用意の上、いつでも正規サービスディーラーToroまたはカスタマーサービスに連絡してください。これらの番号は製品のシリアルプレートに記載されています1。いまのうちに番号をメモしておきましょう。



G406957

重要

シリアル**番号**デカルについている **QR** コード□**無い場合**もあります□をモバイル**機器**でスキャンすると、**製品保証**、パーツその**他**の**製品情報**にアクセスできます。

モデル**番号**		シリアル**番号**	

マニュアルの**表記規則**

このマニュアルでは、潜在的な危険性を特定し、推奨される予防措置に従わない場合に重傷または死亡事故を引き起こす可能性がある危険性を示す安全警告記号と安全メッセージが記載されています。



G405934

この他に2つの言葉で注意を促しています。**重要**は製品の構造などについての注意点を、**注**はその他の注意点を表しています。

安全に関する一般的な注意

この機械は手足を切断したり物をはね飛ばしたりする能力があります。

- マシンを起動する前に、 この取扱説明書の内容を 読んで理解してください。
- この機械を運転する時は常に十分な注意を払ってください。運転中は運転操作に集中してください□注意散漫は怪我や物的損害を発生させる可能性があります。
- 機械の可動部の近くには絶対に手足を近づけないでください。
- ガードなどの安全保護機器が正しく機能していない時は、運転しないでください。
- 作業場所に、無用の大人、子供、ペットなどを近づけないでください。子供に運転させないでください。
- エンジンを停止させ、□キー付きの機種では□キーを抜き取り、各部の動作が完全に停止したのを確認してから運転位置を離れるようにしましょう。調整、整備、洗浄、格納などは、機体が十分に冷えてから行ってください。

間違った使い方や整備不良は人身事故などの原因となります。事故を防止するため、以下に示す安全上の注意や安全注意標識 ⚠ のついている遵守事項は必ずお守りください 「注意」、「警告」、および「危険」 の記号は、人身の安全に関わる注意事項を示しています。これらの注意を怠ると死亡事故などの重大な人身事故が発生する恐れがあります。

安全および説明用デカール

以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。

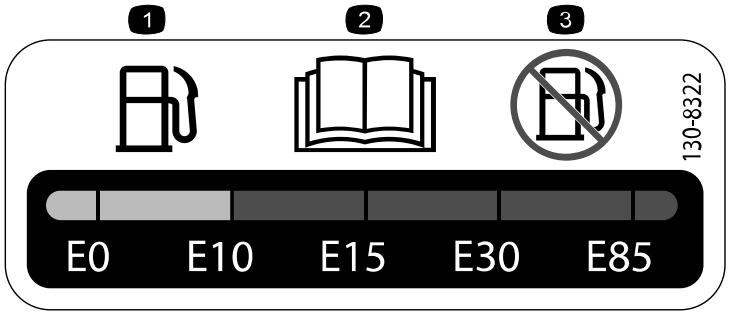
デカル パーツ番号□ 120-9570



s_decal120-9570

(1) 警告□ 可動部に近づかないこと□ 全部のガード類を正しく取り付けて運転すること。

デカル パーツ番号□ 130-8322



s_decal130-8322

1 ガソリンへのアルコール添加は体積比で最大 10%まで。

2 燃料に関する詳しい情報は オペレーターズマニュアル を参照のこと。

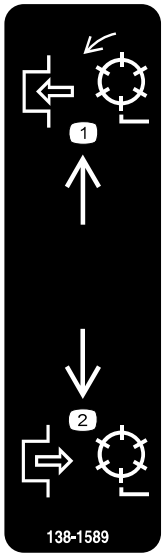
3 アルコール添加は体積比で 10%を超える燃料は使用しないでください。

デカル パーツ番号□ 133-8062



s_decal133-8062

デカル パーツ番号□ 138-1589

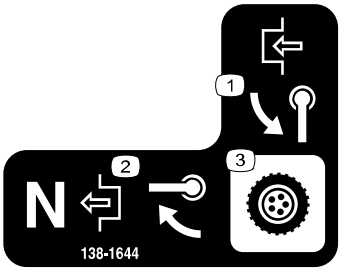


s_decal138-1589

1 リール回転

2 リール停止

デカル パーツ番号□ 138-1644



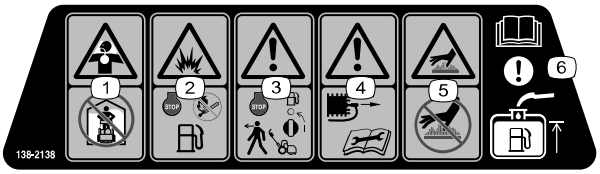
s_decal138-1644

1 ハンドルを回すと接続。

2 ニュートラル位置から回すと解除。

3 トランスミッションの操作

デカル パーツ番号□ 138-2138



s_decal138-2138

① 有毒ガスを吸引する危険□閉め切った場所でエンジンを作動させないこと。

② 爆発の危険□燃料を補給する時はエンジンを停止させること。補給中は火気を遠ざけ禁煙を厳守。

③ 警告□マシンから離れるときにはエンジンを停止し、燃料バルブを閉じること。

④ 警告□整備作業を開始する前に、点火プラグコードを外すこと。

⑤ 火傷の危険□高温部に触れないこと。

⑥ 注意□燃料タンクへの補給方法はオペレーターズマニュアルを参照してください。

デカル パーツ番号□ 138-5532



s_decal138-5532

① 上げるとブレーキ解除

② 下げるとブレーキ作動

③ 駐車ブレーキ□ロック

④ パーキングブレーキ□ロック解除

⑤ 警告□オペレーターズマニュアルを読むこと。

⑥ 警告□講習を受けてから運転すること。

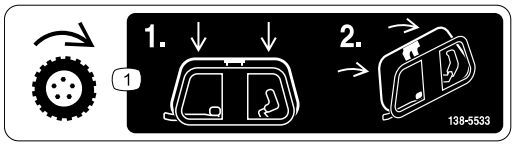
⑦ 警告□ 聴覚保護具を着用のこと。

⑧ 物が飛び出す危険□人を近づけないこと。

⑨ 警告□ 可動部に近づかないこと□ 全部のガード類を正しく取り付けて運転すること。

⑩ マシンを牽引しないこと。

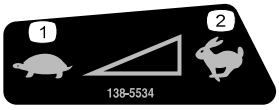
デカル パーツ番号□ 138-5533



s_decal138-5533

① 走行コントロール□押し下げてから握り込む。

デカル パーツ番号□ 138-5534



s_decal138-5534

① 低速

② 高速

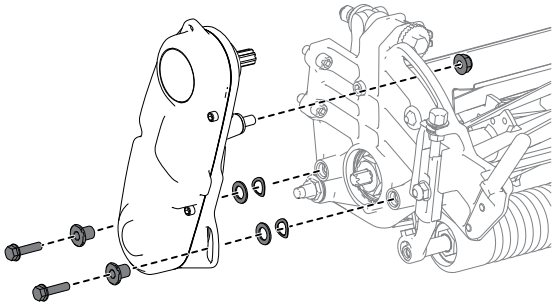
カッティングユニットを調整し取り付ける

カッティングユニットを調整し取り付ける

モデル04820のみ

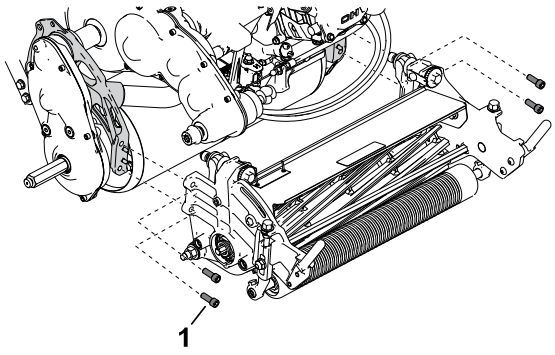
1	カッティングユニット(別注文。Toro認定Toro代理店にお問い合わ方)
1	カップラ
4	ソケットヘッドねじ

1. リールドライブアセンブリをカッティングユニットのサイドプレートから取り外す。



G403382

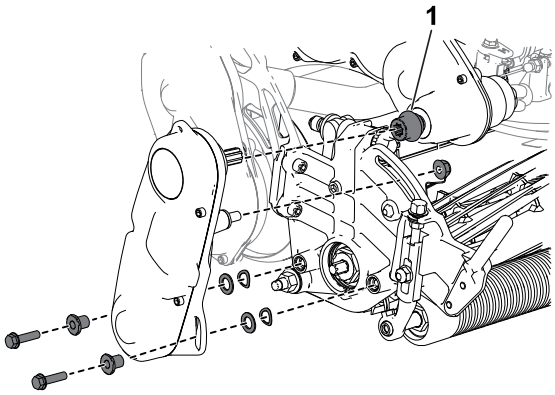
2. カッティングユニットを機械に取り付けるには、六角穴付ネジ4本①を使用する。
3. 希望の刈り高さに合わせてトラクションドラムを調整する。
4. カッティングユニットの設定を行う□カッティングユニットの オペレーターズマニュアルの調整の章を参照。



G403393

カッティングユニットを**調整**し**取り付**ける □**続き**□

5. カプラー①をトランスミッションのドライブシャフトに取り付ける。
6. リールドライブアセンブリをカッティングユニットに取り付ける。
7. カプラー①がトランスミッションのドライブシャフト上で簡単に前後に移動できるようにする。



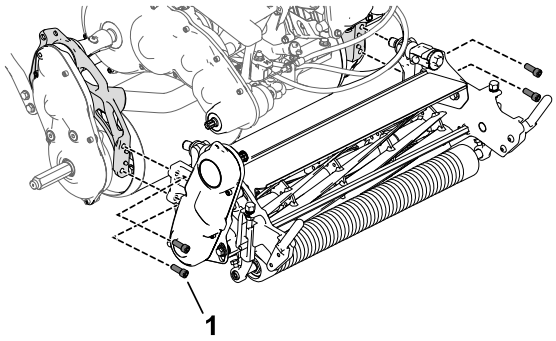
G403394

カッティングユニットを**調整**し**取り付**ける

モデル04830および04840のみ

1	カッティングユニット(別注文。 Toro認定Toro代理店にお問い合わ方)
1	カップラ
1	スプリング
4	ソケットヘッドねじ

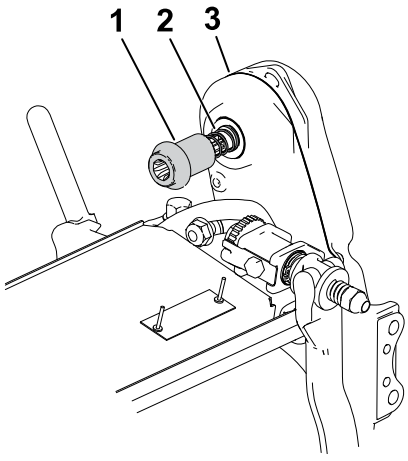
1. カッティングユニットを機械に取り付けるには、六角穴付ネジ4本①を使用する。
2. 希望の刈り高さに合わせてトラクションドラムを調整する。
3. カッティングユニットの設定を行う□カッティングユニットの オペレーターズマニュアルの調整の章を参照。



G403395

4. カプラー①とスプリング②をカッティングユニットのリールドライブアセンブリ③に取り付ける。
5. カプラーがトランスミッションのドライブシャフト上で簡単に前後に移動できるようにする。

   注□ カプラーを動かせない場合は、リールドライブアセンブリの位置またはエンジンとトランスミッションの位置を調整する。詳細はメンテナンスを参照方。



G403406

移動走行用シャフトを取り付ける

モデル04840のみy

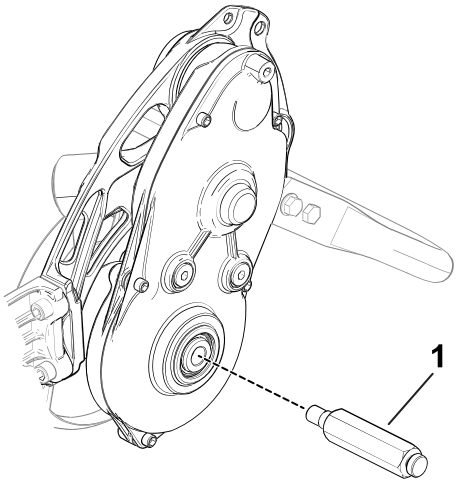
1	左側ホイールシャフト

注□ 右側ホイールシャフトは出荷時に取り付け済みです。

1. ホイールシャフト①のネジ山に中強度のネジロックコンパウンドを塗布する。
2. 機体左側にあるドラム駆動アセンブリに、左側ホイールシャフトを取り付ける。

   注□ 左側ホイールシャフトにははシャフト端に“L“の刻印があり、右ネジが付いている。

3. ロックナットを **54 -68 N·m (5.80-7.34kgm)**のトルクで締め付ける。

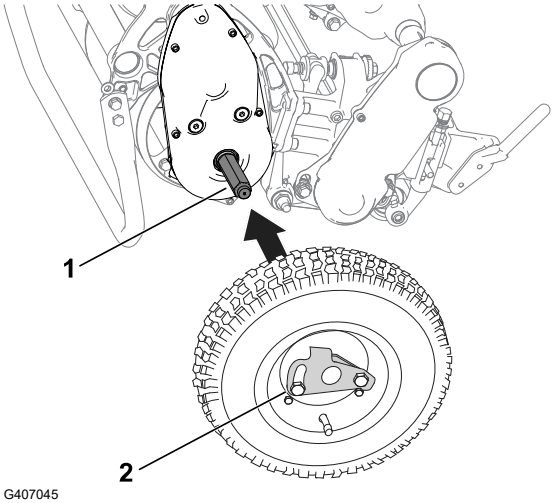


G403407

移動走行用車輪を取り付ける

オプションのトランスポートホイールキット (モデル 04123) を購入できます。詳しくは正規Toro代理店に問い合わせてください。

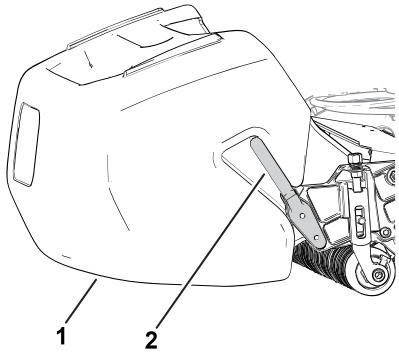
1. タイヤ空気を 0.83-1.03 bar□0.8-1.0 kg/cm2 = 12-15 psi□に調整する。
2. キックスタンドをトランスポートホイールサービス位置に移動する。
3. 車輪を車軸にスライドさせる①。
4. ホイールロッククリップ②をホイールの中心から離れる方向に回転させ、車軸上でさらにスライドできるようにする。
5. 車輪を前後に回転させながら車軸の奥まで押し込み、ロッククリップを溝に嵌めて固定する。
6. 機体の反対側のタイヤについても同じ作業を行う。
7. キックスタンドから、機体を慎重に降ろす。



G407045

集草バスケットを取り付ける

バスケットを①バスケット取り付けロッドの上にスライドさせる②。



G402399

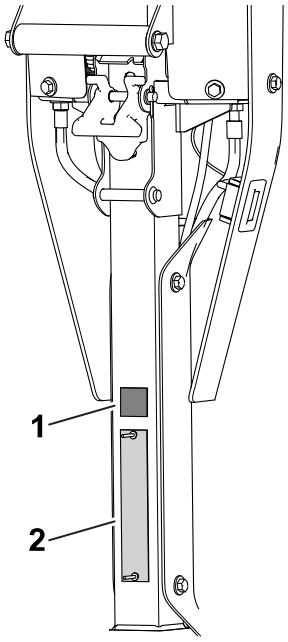
エンジン速度の調整

CEまたはUKCA準拠国のみ

1	CE/UKCA向けデカール

CE/UKCA規格に準拠する国でマシンを使う場合は、次の手順を実行することで騒音規制に適合します□

1. エンジンのハイアイドル速度を以下の数値に調整する□
   - 1018 マシン□**3,000 rpm**
   - 1021 と 1026 マシン□**3,150 rpm**
2. CE/UKCA デカール②①をシリアルプレートの下に貼り付ける。



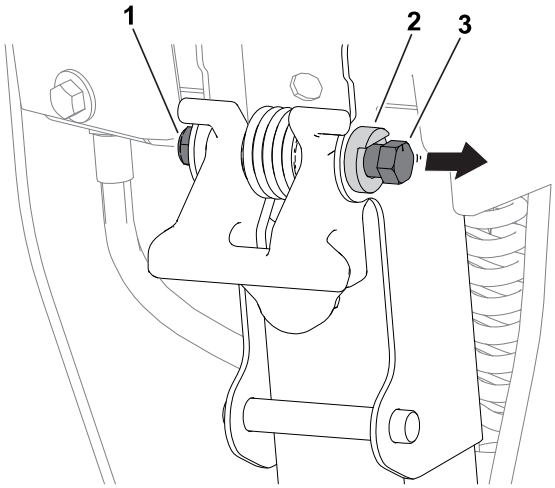
G420687

ハンドルハイトアジャスターのラッチボルトの調整

ハンドルハイトアジャスターがアッパーレシーバーの溶接部と平行でない場合は、次の手順でボルトを調整すること□

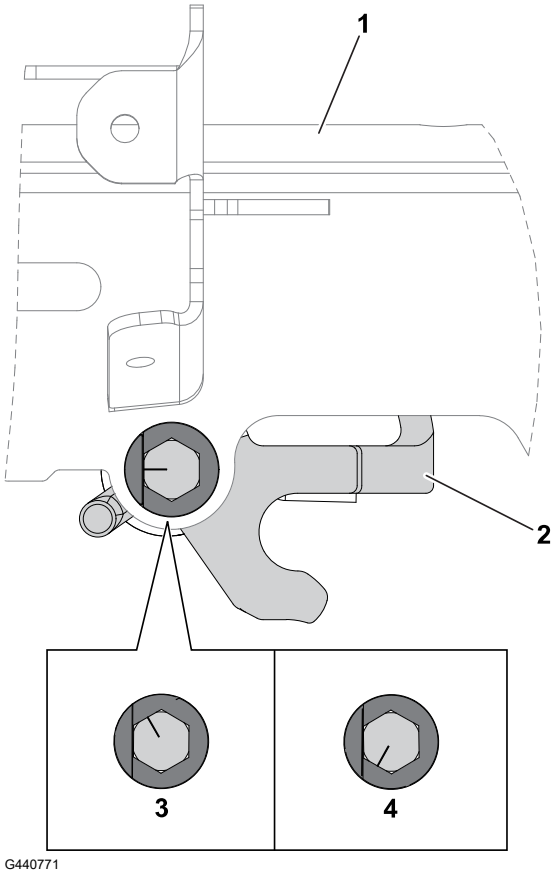
1. ラッチボルト③のナット①を緩め、ボルトヘッドがピボットストップ②を超えて自由に移動できるようにする。

   注□ ハンドルハイトアジャスタースプリングに圧力を加えて、ボルトの張力を軽減できます。



G440770

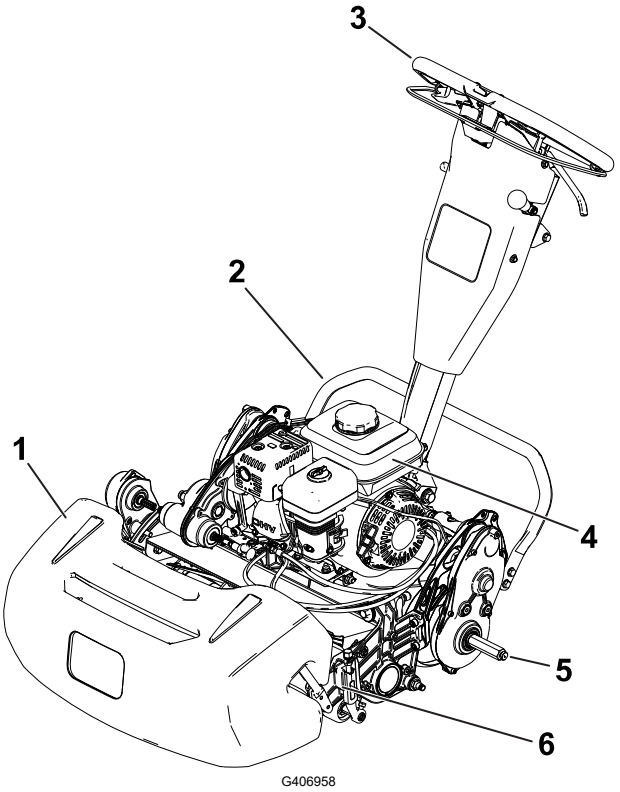
2. ボルトを時計回り③または反時計回り④に回して、ハンドルハイトアジャスタ②の角度を内側または外側に調整する。ハンドルハイトアジャスターはアッパーレシーバーの溶接部①と平行である必要があります。
3. ラッチボルトのナットを締めて、新しいボルトの位置がピボットストップに対して固定されるようにする。



G440771

Chapter 4

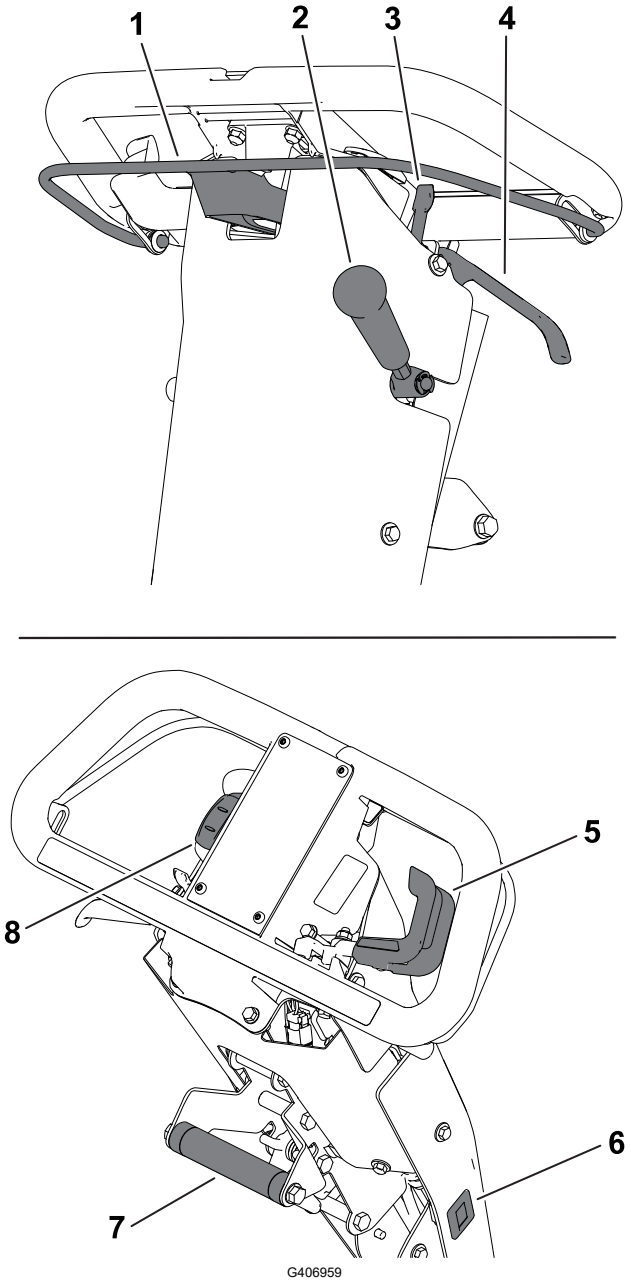
Product Overview



G406958

1. 集草バスケット
2. キックスタンド
3. ハンドル
4. 燃料タンク
5. 移動走行用車輪用の軸
6. カッティングユニット

各部の名称とはたらき



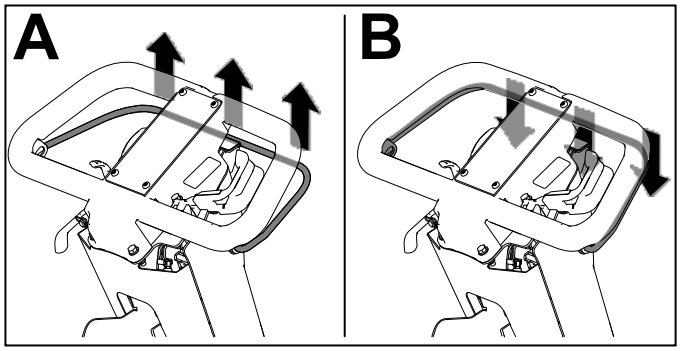
1. クラッチベイル
2. カッティングユニット駆動レバー
3. 駐車ブレーキのラッチ
4. 常用ブレーキレバー
5. スロットルコントロール
6. アワーメータ
7. 引き上げハンドル
8. ON/FF スイッチ

クラッチベイル

クラッチベールを使って、トラクションドライブを作動または解除する。

- トラクションドライブを**作動**させるⒶ□バーを引き上げてハンドルに保持する。
- トラクションドライブを**解除**するⒷ□ バーを放す。

クラッチベイル □続き□

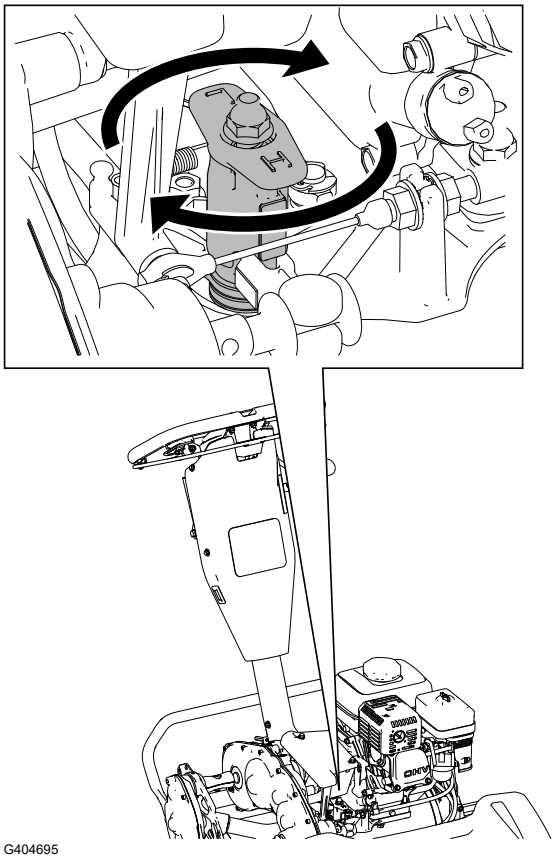


G404693

リールスピードコントロール

リールスピードコントロールノブを使って、リールスピードを調整する。

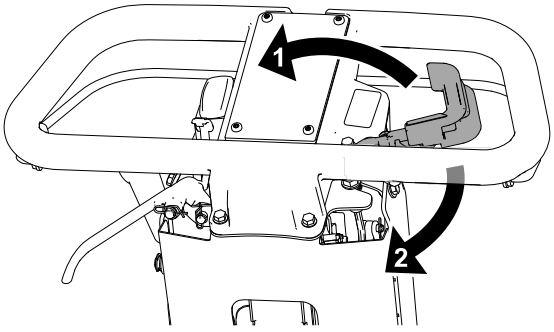
- ハイリールスピード□ ノブの“H“がマシンの正面を向くようにノブを回す。
- ローリールスピード□ ノブの“L“がマシンの正面を向くようにノブを回す。



G404695

スロットルコントロール

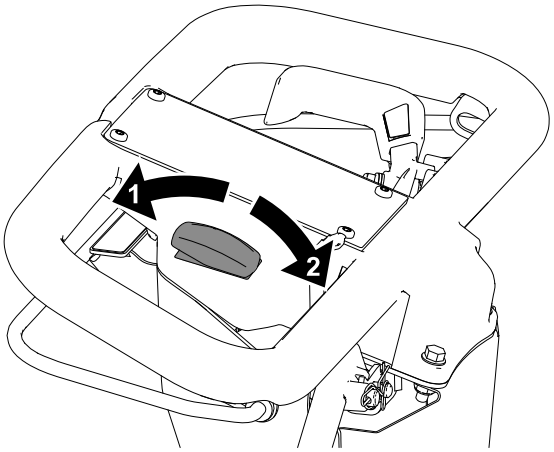
- エンジン**回転数**を**下**げる①:□レバーを上に回転させる。
- エンジン**回転数**を**上**げる②:□レバーを下に回転させる。



G404697

ON/OFF スイッチ

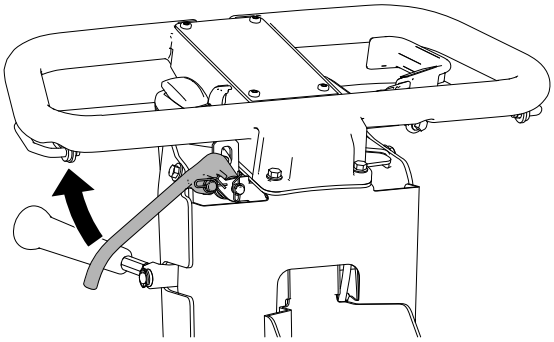
- エンジンを**始動**する①:スイッチの上部を押す。
- エンジンを**止**める②:スイッチの下部を押す。



G404698

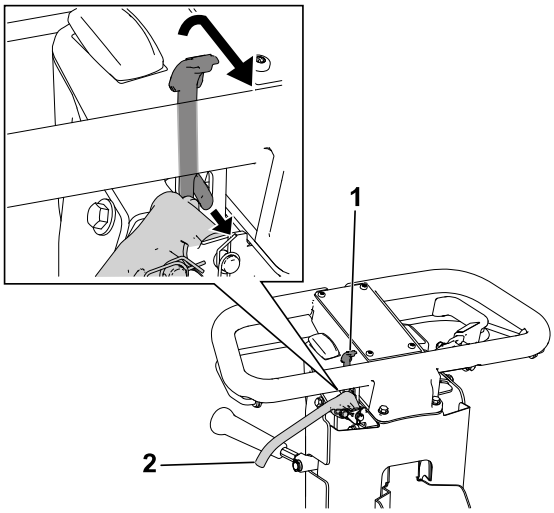
常用ブレーキレバー

サービスブレーキレバーをハンドル側に引いて、マシンを減速または停止する。


G404699

駐車ブレーキ用ラッチ

- **駐車**ブレーキをかける①:サービスブレーキレバーを掛けた状態で、パーキングブレーキラッチを手前に回転させる。
- **駐車**ブレーキを**解除**する②:サービスブレーキレバーをハンドル側に引く。

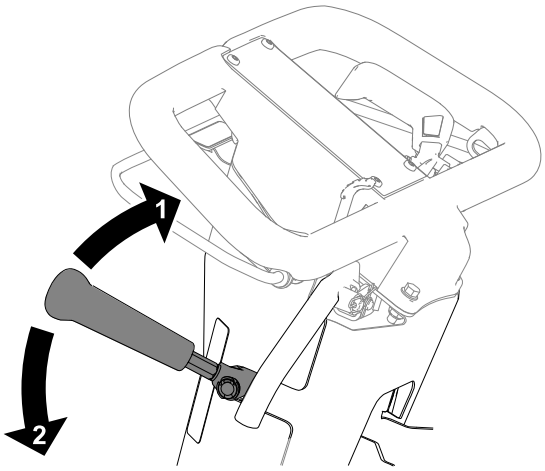


G404700

カッティングユニット駆動レバー

クラッチベールが接続されているときに、カッティングユニット駆動レバーを使って、カッティングユニットの着脱を行う。

- カッティングユニットを**取り付**ける②スイッチを押し下げる。
- カッティングユニットを**取り外**す①スイッチを押し上げる。



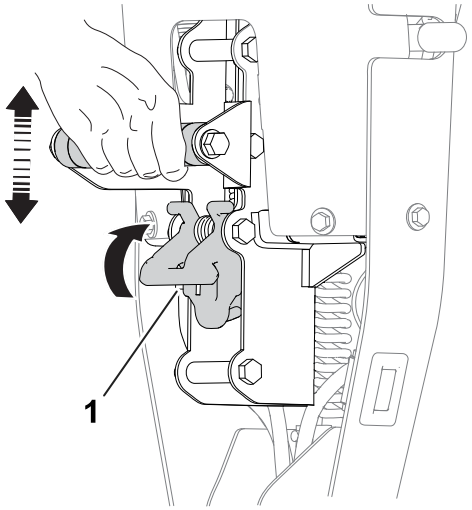
G404701

アワーメータ

アワーメーターはエンジンの総稼働時間を記録し、定期メンテナンススケジュールを立てるのに役立ちます。

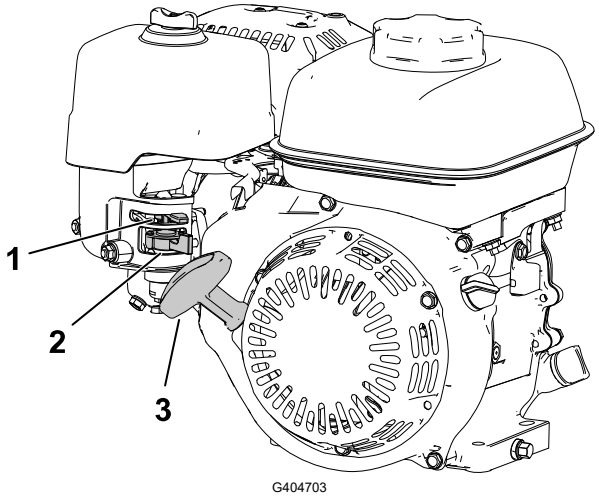
ハンドル高さアジャスタ

ハンドル高さアジャスター①を引き上げて、ハンドルの高さを快適な操作位置まで上下させます。



G404702

エンジンコントロール



G404703

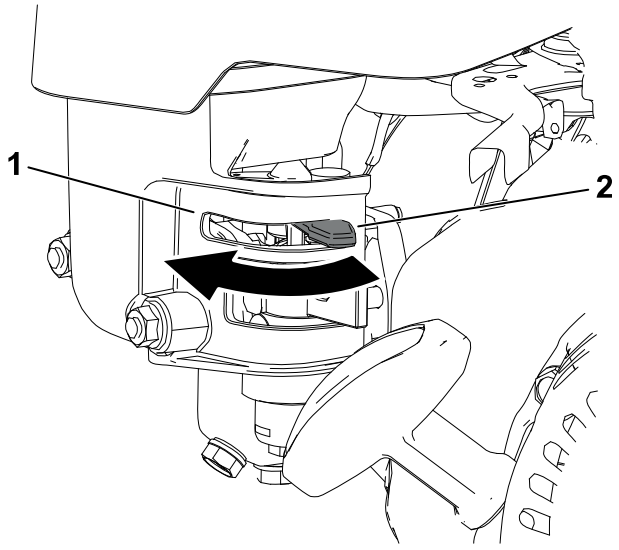
① チョークレバー

② 燃料バルブ

③ リコイルスタータハンドル

エンジンコントロール □続き□

チョークレバー



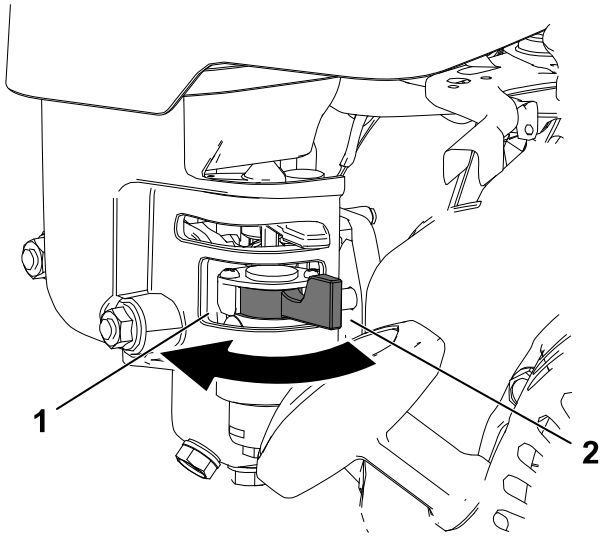
G404704

① 冷えたエンジンを始動する前にチョークを作動させる。

② エンジンが暖まったらチョークを解除する。

燃料バルブ

マシンを数日間使用しないとき、現場への往復の移動中、またはマシンを建物内に駐車するときは、燃料遮断弁を閉じてください。



G404705

① クローズ済み

② 開

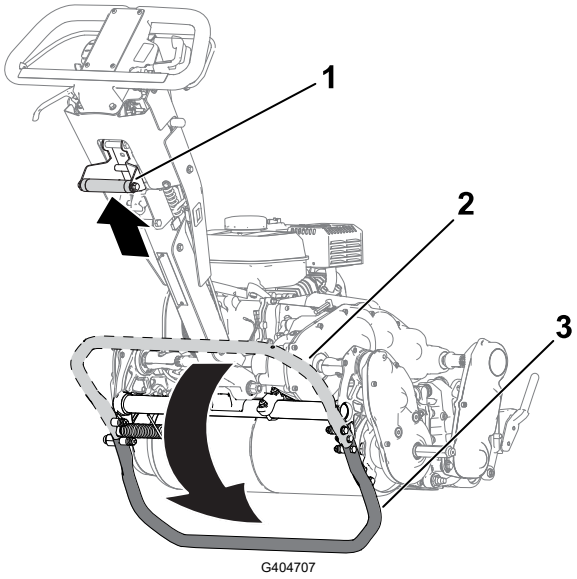
リコイルスタータハンドル

エンジンを始動には、リコイルスターターハンドルを引きます。

キックスタンド

車輪やカッティングユニットの付け外しを行う時に、キックスタンドを使用します。

キックスタンド □続き□



⚠ 注意 ⚠

機体は**重**いので、**正**しく**持**ち**上**げないと**背中**を**傷**める**恐**れがあります。

キックスタンドに**載**せた**足**をしっかりと**踏**ん**張**り、**機体中央下部**についている**引**き**上**げハンドルだけで**機体**を**引**き**上**げてください。この**方法以外**のやり**方**で**機体**を**持**ち**上**げようとするとけがをする**恐**れがあります。

- トランスポートホイールサービスの**位置**③□

  キックスタンドを使って運搬用ホイールを取り付けるには、キックスタンドに足を置きながら、リフトアシストハンドル①を引き上げて元に戻します。

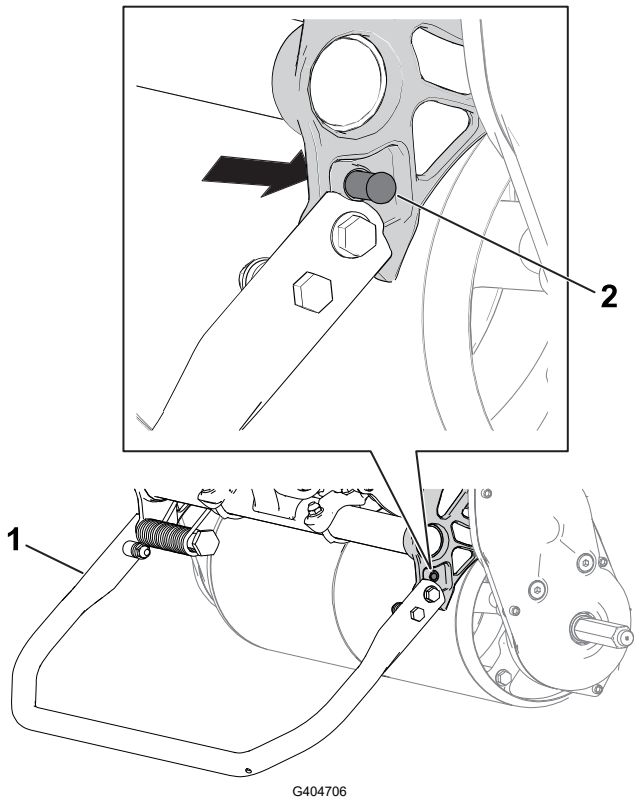
- **保管位置**②□

  1. キックスタンドを踏みつけた状態で走行ドラムを接地させる。
  2. キックスタンドから足を離してスタンドが格納位置に戻れるようにする。

- カッティングユニットサービス**位置**①□

  ②カッティングユニットを取り外すときにマシンが後方に傾くのを防ぐには、キックスタンドを下げ、スプリングピンを押し出してキックスタンドを所定の位置に保つようにします。

キックスタンド □続き□



① キックスタンド□カッティングユニット整備位置

② スプリングピン

Specifications

Note: Specifications and design are subject to change without notice.

	Model 04820	Model 04830	Model 04840
Width	84 cm (33 inches)	91 cm (36 inches)	104 cm (41 inches)
Dry weight*	95 kg (210 lb)	100 kg (220 lb)	107 kg (235 lb)
Width of cut	46 cm (18 inches)	53 cm (21 inches)	66 cm (26 inches)
Height of cut	Dependent on traction-drum position and use of High Height-of-Cut Kit.		
Clip	Dependent on reel speed and reel-drive-pulley position.		
Engine speed	Low idle: 1,900 ± 100 rpm; High idle: 3,450 ± 100 rpm		
Mowing speed	3.2 km/h (2 mph) to 5.6 km/h (3.5 mph)		
Transport speed	8.5 km/h (5.3 mph)		
*Traction unit only. Refer to the cutting unit *Operator's Manual* for the weight of each cutting unit.			

アタッチメントとアクセサリ

承認されたアタッチメントおよびアクセサリToroをマシンと一緒に使用して、その機能を強化および拡張することができます。認定サービス ディーラーまたは認定Toro代理店に問い合わせていただくか、www.Toro.com全ての認定アタッチメントおよびアクセサリのリストを参照してください。

マシンの最適なパフォーマンスと継続的な安全認証を維持するには、純正のToro交換部品とアクセサリのみを使ってください。

操作前

運転前の安全確認

安全に関する一般的な注意

- 子供やトレーニングを受けていない大人には、絶対に運転や整備をさせないでください。地域によっては機械のオペレータに年齢制限を設けていることがありますのでご注意ください。オペレーターや整備士全員に適切なトレーニングを実施するのはオーナーの責任です。
- 各部の操作方法や本機の正しい使用方法、警告表示などに十分慣れ、安全に運転できるようになりましょう。
- マシンを停止させ、□キー付きの機種では□キーを抜き取り、各部の動作が完全に停止したのを確認してから運転位置を離れる。調整、整備、洗浄、格納などは、機体が十分に冷えてから行う。
- 緊急停止方法に慣れておきましょう。
- オペレータコントロールやインタロックスイッチなどの安全装置が正しく機能しているか、またガードなどの安全保護具が外れたり壊れたりしていないか点検してください。これらが正しく機能しない時には機械を使用しないでください。
- これから機械で作業する場所をよく確認し、機械に巻き込まれそうなものはすべて取り除きましょう。

燃料についての安全事項

- 燃料の取り扱いに際しては安全に特にご注意ください。燃料は引火性が高く、気化すると爆発する可能性があります。
- 燃料取り扱い前に、引火の原因になり得るタバコ、パイプなど、すべての火気を始末してください。
- 燃料の保管は必ず認可された容器で行ってください。
- エンジン回転中などエンジンが高温の時に燃料タンクのふたを開けたり給油したりしな。
- 締め切った場所では燃料の補給や抜き取りをしないでください。
- ガス湯沸かし器のパイロット火やストーブなど裸火や火花を発するものがある近くでは、機械や燃料容器を保管･格納しないでください。
- 燃料がこぼれたら、エンジンを始動せずにマシンを別の場所に動かし、気化した燃料ガスが十分に拡散するまで引火の原因となるものを近づけないでください。
- トラックの荷台に敷いたカーペットやプラスチックマットなど絶縁体の上で燃料の給油をしないでください。燃料容器は車から十分に離し、地面に直接置いて給油してください。

運転前の安全確認 □続き□

- 給油は、機械をトラックやトレーラから地面に降ろし、機体を接地させた状態で行ってください。機械を車両に搭載したままで給油を行わなければいけない場合には、大型タンクのノズルからでなく、小型の容器から給油してください。
- 給油は、給油ノズルを燃料タンクの口に接触させた状態を維持して行ってください。

毎日の整備作業を実施する

毎日マシンを始動する前に、メンテナンススケジュールに記載されている各使用ごと/毎日の手順を実行してください。

燃料

燃料についての仕様

容量	2.0 L
種類	無鉛ガソリン
最低オクタン価	87□米国内□、91□米国外□リサーチ法オクタン価□
エタノール	体積比で10%未満であること
メタノール	なし
MTBE□メチルターシャリーブチルエーテル□	体積比で15%未満であること
オイル	燃料にオイルを混合しないこと

きれいで新しい□購入後30日以内□燃料を使ってください。

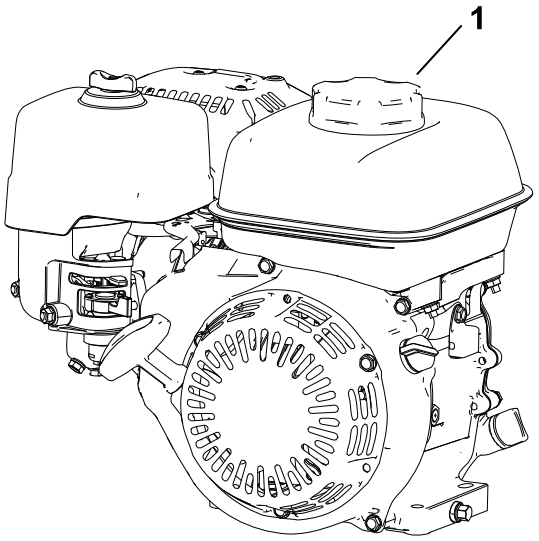
重要

始動困難トラブル**低減**のために、**新**しい**燃料**にスタビライザー/コンディショナーを、コンディショナーメーカーの**指示**に**従**って**使用**してください。

燃料 □続き□

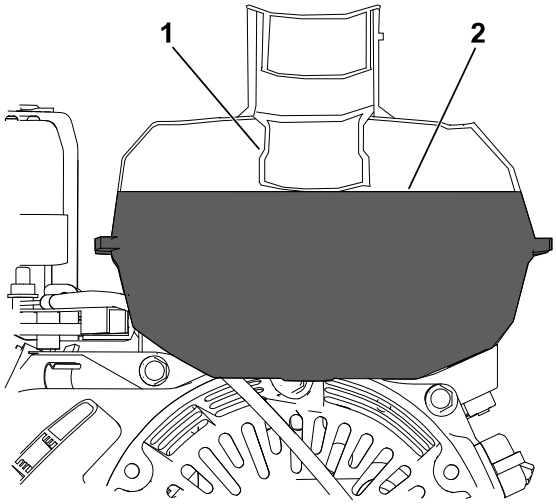
燃料を補給する

1. 燃料タンクのキャップ①周りを清掃し、キャップを取り外す。



G404710

2. 推奨燃料②を燃料タンクの満タンまで□燃料ゲージ①の下端まで□入れる。



G404711

重要

このレベルを**超**えてタンクを**満杯**にしないこと。

3. タンクにキャップをはめ、こぼれた燃料は必ず拭き取る。

クリップレートの**調整方法**

1. 次の表に従って、適切なクリップレートを決定する□

クリップレートの**調整方法** □続き□

クリップレート

リールスピード	プーリーポジション	カッティングユニット		
		8枚刃	**11 枚刃**	**14 枚刃**
低い	低い	7.3 mm	5.3 mm	4.2 mm
低い	高い	6.1 mm	4.4 mm	3.5 mm
高い	低い	5.9 mm	4.3 mm	3.4 mm
高い	高い	5.0 mm	3.6 mm	2.8 mm

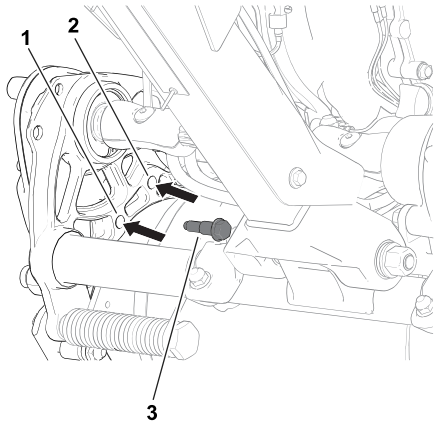
2. 必要に応じて、リールスピードコントロールを高または低の設定に調整する。
3. 必要に応じて、カッティングユニットのリールドライブプーリーを高または低の位置に設定する。カッティングユニットの取扱説明書を参照方。

走行ドラムの**位置の選択**

走行ドラムの位置は2つから選択可能です□

- ローポジション① □低い刈高での芝刈り (ゴルフコースのグリーンの芝刈りなど) には、この位置を使います。
- ハイポジション② □より高い刈高での芝刈り□ゴルフコースのティーボックスの芝刈りなど□には、この位置を使います。

1. キックスタンドをトランスポートホイールサービス位置に移動する。
2. マシンの両側にあるドラムドライブハウジングをシャーシに固定している肩付きボルト③を取り外す。
3. シャーシについている穴と、ハウジングの穴を整列させる。
4. 前に取り外した肩付きボルトを使って、ドライブハウジングをシャーシに固定する。
5. キックスタンドを格納位置に移動する。



G404712

動作中

運転中の安全確認

安全に関する一般的な注意

- オーナーやオペレータは自分自身や他の安全に責任があり、オペレータやユーザーの注意によって物損事故や人身事故を防止することができます。
- 作業にふさわしい服装をし、安全めがね、長ズボン、頑丈で滑りにくい安全な靴、および聴覚保護具を着用してください。長い髪は束ねてください。ゆるい装飾品やだぶついた服は身に着けないでください。
- 疲れている時、病気の時、アルコールや薬物を摂取した時は運転しないでください。
- この機械を運転する時は常に十分な注意を払ってください。運転中は運転操作に集中してください□注意散漫は怪我や物的損害を発生させる可能性があります。
- エンジンを掛ける前に、全部の駆動装置がニュートラルであること、駐車ブレーキが掛かっていることを確認し、正しい運転位置に立ってください。
- 作業場所に、無用の大人、子供、ペットなどを近づけないでください。周囲が無人でない場合は、集草バスケットを取り付けた上で、安全に十分注意してください。
- 運転は、穴や障害物を確認できる十分な照明のもとで行ってください。
- 落雷の危険がある時には運転しないでください。
- ぬれた芝草を刈り込む時は安全に十分注意して行ってください。足元が不十分な場所ではスリップや転倒を起こしやすくなります。
- カッティングユニットに手足を近づけないでください。
- バックするときには、足元と後方の安全に十分な注意を払ってください。
- 見通しの悪い曲がり角や、茂み、立ち木などの障害物の近くでは安全に十分注意してください。
- 刈り込み中以外は必ずカッティングユニットを止めておいてください。
- 刈高を変更する場合には必ずカッティングユニットを止め、マシンのスイッチを切ってください。
- 排気ガスが充満するような締め切った場所では絶対にエンジンを運転しないでください。
- マシンを作動させたままで絶対に機体から離れないでください。
- 運転席を離れる前に以下を行ってください:
  - 平らな場所に駐車する。
  - カッティングユニットを停止させる。
  - 駐車ブレーキを掛ける。
  - 車両を止め、□キーのある機種では□キーを抜き取る。
  - 全ての動きが停止するのを待つ。
- また、溜まった刈りかすを捨てる時は必ずマシンを停止させてください。
- エンジン回転中や停止直後は、エンジン本体、マフラー、排気管などに触れると火傷の危険がありますから手を触れないでください。
- 以下の場合は、カッティングユニットの駆動を止め、エンジンを止めてください□

運転中の安全確認 □続き□

  - 燃料を補給するとき□
  - 詰まりを取り除く時
  - 集草バスケットを取り外す時
  - カッティングユニットの点検・清掃・整備作業などを行うとき□
  - 異物をはね飛ばしたときや機体に異常な振動を感じたときカッティングユニットに損傷がないか点検し、必要があれば修理を行ってください。 点検修理が終わるまでは機械を使用しないでください。
  - 運転位置を離れる前に
- The Toro® Companyが承認したアクセサリおよびアタッチメントのみを使用してください。

斜面での安全確保

- 斜面はスリップや転倒などを起こしやすく、これらは重大な人身事故につながります。斜面での安全運転はオペレータの責任です。どんな斜面であっても、通常以上に十分な注意が必要です。斜面で運転する前に、必ず以下を行ってください□
  - マニュアルや機体に描かれている斜面に関する注意事項を読んで内容をよく理解する。
  - 作業当日に現場の実地調査を行い、安全に作業ができるか判断する。以上の調査においては、常識を十分に働かせてください。同じ斜面上であっても、水分など地表面の条件が変われば運転条件が大きく変わります。
- 斜面の刈り込みは、上り下り方向でなく、横断方向に行ってください。急斜面や濡れた斜面での運転はしないでください。足元が不十分な場所ではスリップや転倒を起こしやすくなります。
- 斜面に入る前に、安全の判断をしてください。段差、溝、盛り土、水などの近くに乗り入れないでください。万一車輪が段差や溝に落ちたり、足元の地面が崩れたりすると、機体が瞬時に転倒し、非常に危険です。危険な場所から十分に離れて運転してください。危険な場所での刈り込みには手刈りで対応してください。
- 斜面での発進・停止・旋回は避けてください。急旋回したり不意に速度や方向を変えたりしないでください□旋回はゆっくり行ってください。
- 走行、ステアリング、安定性などに疑問がある場合には運転しないでください。ぬれ芝、急斜面など滑りやすい場所で運転すると滑って制御できなくなる危険があります。駆動力を失うと、スリップを起こしたりブレーキや舵取りができなくなる恐れがあります。駆動を停止させてもスリップを起こす場合があります。
- 隠れた穴、わだち、盛り上がり、石などの見えない障害は、取り除く、目印を付けるなどして警戒してください。深い芝生に隠れて障害物が見えないことがあります。不整地では機体が転倒する可能性があります。
- マシンをコントロールすることができなくなったら、マシンの走行方向と反対側に飛び降りてください。
- 下り坂では必ずマシンをギアに入れておいてください。下り坂をニュートラルで走行しないでください□ギア駆動式のマシン□。

エンジンの始動手順

注□ 点火プラグに高圧ケーブルが取り付けられているのを確認してください。

エンジンの始動手順 □続き□

1. 走行レバーがニュートラル位置にセットされていることを確認してください。
2. 燃料遮断弁が開いていることを確認してください
3. ON/OFFスイッチをONにセットする。
4. スロットルコントロールでエンジンの回転速度を制御する。
5. エンジンが冷えた状態で始動する時はチョークを CHOKEとRUN位置の中間にセットする。

   注□ エンジンが暖まっているときはこの操作は不要。
6. スタータのハンドルをゆっくり引く。抵抗を感じたらそこから力強く引っ張る。

重要

引き出しきったスタータロープを**無理**に**引っ張**ったり、**引き終**わったロープの**握**りを**放**さないでください。どちらもロープやスタータ**内部**の**破損**の**原因**となります。

7. エンジンが始動したらウォームアップが進むにつれてチョークレバーを RUN 側に移動する。

芝刈りの概要

1. マシンを作業エリアまで搬送します。
2. エンジンを起動し、スロットルを低速に設定し、ハンドルを押し下げてカッティングユニットを上昇させ、トラクションドライブを作動させてマシンをグリーンのカラーまで運びます。
3. カラー部分で停止する。
4. カッティングユニットレバーを入れてカッティングユニットの駆動を開始、スロットルを適当な走行速度に調整し、走行ドライブを入れてグリーンに入ってカッティングユニットを降ろして刈り込みを開始する。

芝刈りのヒント

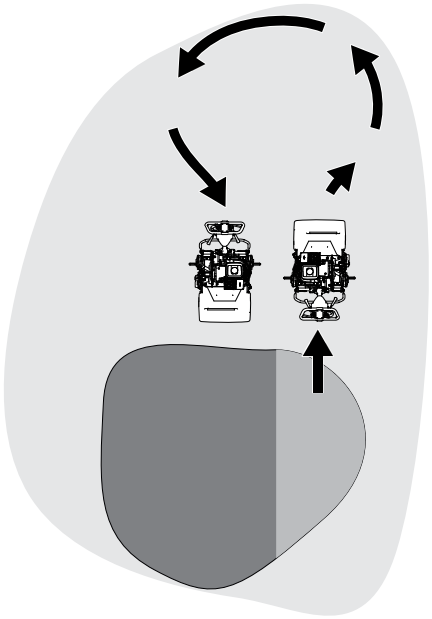
重要

芝刈り運転中、刈りカスは潤滑剤の役割を果たします。刈りかすが出ない場所で長時間カッティングユニットを回転させるとカッティングユニットを損傷します。

- グリーンは直線往復刈りで刈ります。
- 円状や渦巻き状に刈ると芝を傷つけますから避けてください。

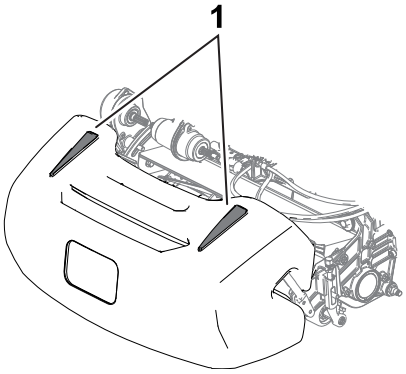
芝刈りの概要 □続き□

- カッティング リールを上げて (ハンドルを押し下げて)、トラクションドラム上で引き裂くような回転を実行して、マシンをグリーンの外に出します。
- 芝刈りの速度は普通に歩く速さが適当です。早く歩いても時間の節約にはなりません。むしろ仕事が粗くなります。



G404724

- バスケットの位置合わせストライプを使って①、グリーン上で直線を維持し、前のカット端からマシンを等距離に保つようにします。



G404725

エンジンの停止手順

1. Kラッチベイルから手を離す。
2. スロットルコントロールを低速位置にする。
3. ON/OFFスイッチをOFFにセットする。
4. 格納保管時やトレーラで運搬する時には燃料バルブを閉じておいてください。

操作後

運転終了後の安全確保

安全に関する一般的な注意

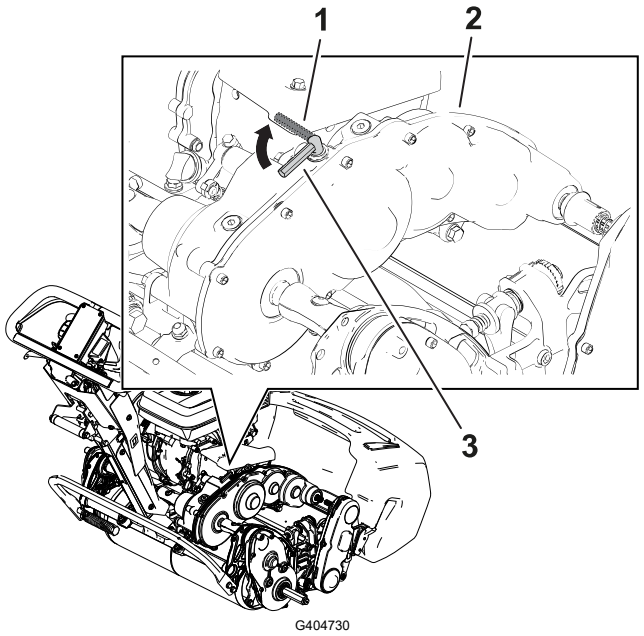
- マシンを停止させたら、□キー付きの機種では□キーを抜き取り、各部の動作が完全に停止したのを確認してから運転位置を離れるようにしてください。調整、整備、洗浄、格納などは、機体が十分に冷えてから行う。
- 火災防止のため、機械に刈りかすなどが溜まらないように注意する。オイルや燃料がこぼれた場合はふき取る。
- 閉めきった場所に本機を格納する場合は、機械が十分冷えていることを確認してください。
- ガス湯沸かし器のパイロット火やストーブなど裸火や火花を発するものがある近くでは、機械や燃料容器を保管･格納しない。
- スロットルでエンジン速度を落としてからエンジンスイッチを切り、燃料バルブ□が付いている場合□を閉じる。

運転終了後の整備

1. グリーンを出てハンドルを押し下げてカッティングユニットを浮かし、クラッチペイルから手を離してカッティングユニットを停止させ、エンジンを止める。
2. 集草バスケットを外し、たまっている刈りかすを捨てる。
3. 集草バスケットを元通りに取り付けて整備場へ帰る。

トランスミッションを切る

走行うドラムをトランスミッションから切り離してマシンを手で押して移動させることができます。マシンを起動せずに移動する必要がある場合□密閉された場所でメンテナンスを行う場合など□は、トランスミッションを解除してください。エンジンで走行するときにはトランスミッションを接続してください。



① トランスミッション接続レバー□解除位置

② トランスミッションのギアボックス

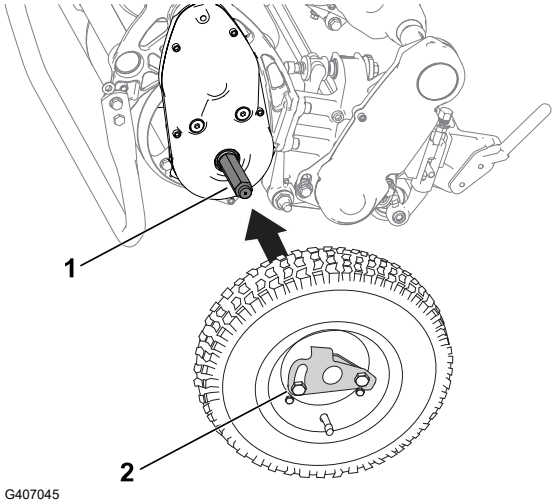
③ トランスミッション接続レバー□接続位置

移動走行を行うとき

移動走行用車輪を取り付ける

オプションのトランスポートホイールキット (モデル 04123) を購入できます。詳しくは正規Toro代理店に問い合わせてください。

1. タイヤ空気を 0.83-1.03 bar□0.8-1.0 kg/cm2 = 12-15 psi□に調整する。
2. キックスタンドをトランスポートホイールサービス位置に移動する。
3. 車輪を車軸にスライドさせる①。
4. ホイールロッククリップ②をホイールの中心から離れる方向に回転させ、車軸上でさらにスライドできるようにする。
5. 車輪を前後に回転させながら車軸の奥まで押し込み、ロッククリップを溝に嵌めて固定する。
6. 機体の反対側のタイヤについても同じ作業を行う。
7. キックスタンドから、機体を慎重に降ろす。



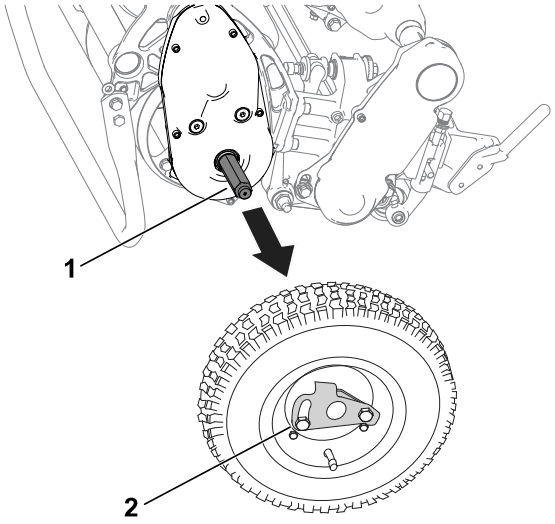
移動走行用タイヤを使っての移動

短距離を移動する場合には移動走行タイヤを使用してください。

1. 移動用タイヤを取り付ける。
2. 走行コントロールとリール回転コントロールがニュートラル位置にあることを確認する。
3. エンジンを始動し、スロットルコントロールを スローに設定する。
4. マシンの前部を上に傾けて、徐々にトラクションドライブを作動させる。
5. スロットルで適当な走行速度に調整し、目的地に移動する。

移動用タイヤを取り外す。

1. クラッチベイルから手を離し、スロットルコントロールでエンジン速度を下げてからエンジンを止める。
2. キックスタンドをトランスポートホイールサービス位置に移動する。
3. ホイールロッククリップ②を車軸①から押し出して、搬送用ホイールを取り外す。
4. ゆっくりと前方に押すか、下部ハンドルサポートを持ち上げて、マシンをキックスタンドから慎重に下ろす。キックスタンドはバネにより保管位置に戻る。



G404843

トレーラへの積み込み

長距離を移動する場合にはトレーラを使用してください。トレーラへの積み降ろしは十分に注意して行ってください。

注□ ToroTrans Pro トレーラーを使ってマシンを搬送できます。トランスプロへの積み下ろしについては、トランスプロのオペレーターズマニュアルを参照してください。。

1. 機体を注意深くトレーラに搭載する。
2. エンジンを止め、駐車ブレーキを掛け、燃料バルブを OFF 位置にセットする。

重要

トレーラで**搬送中**は、**芝刈**り**機**のエンジンを**停止**してください。**芝刈**り**機**を**傷**つける**恐**れがあります。

3. 積み込みには、機体と同じ幅のある歩み板を使用してください。
4. 機体をトレーラに確実に固定する。

保守

警告

適切な**保守整備**を**行**わないと**車両**が**故障**・**破損**したり、**搭乗者**や**周囲**の**人間**まで**巻き込む****人身事故**を**起**こす**恐**れがある。
マニュアルに**記載**された**作業**を**行**って、マシンをいつも**適切**な**状態**に**維持**することが**重要**である。

注□ 前後左右は運転位置からみた方向です。

重要

機体を **25° 以上傾**けないでください。**25° 以上傾**けると、オイルが**燃焼室内**に**入り込**んだり、**燃料**タンクから**燃料**が**漏**れたりします。

重要

エンジンの**整備**に**関**しての**詳細**は、**付属**のエンジンマニュアルを**参照**してください。

保守作業時の安全確保

- 運転席を離れる前に□
  - 平らな場所に駐車する。
  - スロットルスイッチを低速アイドル位置にセットする。
  - カッティングユニットを停止させる。
  - 走行ペダルがニュートラルになっていることを確認する。
  - 駐車ブレーキを掛ける。
  - 車両を止め、□キーのある機種では□キーを抜き取る。
  - 全ての動きが停止するのを待つ。
- 保守作業は、各部が十分冷えてから行ってください。
- 可能な限り、マシンを作動させながらの整備はしない。可動部に近づかない。
- エンジンを回転させながら調整を行わなければならない時は、手足や頭や衣服をカッティングユニットや可動部に近づけないように十分注意してください。人を近づけないでください。
- 火災防止のため、カッティングユニットや駆動部、マフラー、冷却スクリーンの周囲に、草や木の葉、ほこりなどが溜まらないようご注意ください。オイルや燃料がこぼれた場合はふき取ってください。
- すべてのパーツを良好な作動状態に維持しましょう。摩耗、破損したり読めなくなったパーツやステッカーは交換してください。常に機械全体の安全を心掛け、ボルト類が十分に締まっているのを確認してください。
- 集草装置は頻繁に点検し、必要に応じてパーツなどを交換してください。
- マシンの安全で最適なパフォーマンスを確保するには、純正Toroの交換部品のみを使用してください。他社の部品を御使用になると危険な場合があり、製品保証を受けられなくなる場合がありますのでおやめください。
- 大規模な修理が必要な場合、またはサポートが必要な場合は、正規代Toro理店に問い合わせてください。

推奨定期整備一覧表

定期整備間隔	整備内容	パーツ番号	数量	内容
最初の 20 運転時間後	エンジンオイルを交換する。	38280	1	プレミアムエンジンオイル 10w30—ボトル (946 ml)
		121-6393	1	プレミアムエンジンオイル 10w30—ペール缶 (18.9 L)
		121-6392	1	プレミアムエンジンオイル 10w30—ドラム缶 (208.2 L)
毎日または毎回の使用前	エンジンオイルレベルをチェックする。	–	–	–
	エアフィルターのエレメントを点検する。	–	–	–
50 時間ごと	エアフィルターのエレメントを清掃する。	–	–	–
100 時間ごと	エンジンオイルを交換する。	38280	1	プレミアムエンジンオイル 10w30—ボトル (946 ml)
		121-6393	1	プレミアムエンジンオイル 10w30—ペール缶 (18.9 L)
		121-6392	1	プレミアムエンジンオイル 10w30—ドラム缶 (208.2 L)
	スパークプラグを点検し、調整する。必要であれば交換する。	–	1	スパークプラグ□ホンダから入手する
300 時間ごと	ペーパーフィルターエレメントを交換する (粉塵の多い運転条件ではより頻繁に交換する)。	–	1	ペーパーフィルターエレメントはホンダから入手する
	スパークプラグを交換する。	–	1	スパークプラグ□ホンダから入手する
1年ごと	走行ケーブルを調整する	–	–	–

始業点検表

このページをコピーして使ってください。

点検項目	第週						
	月	火	水	木	金	土	日
ブレーキロックレバーの動作を確認する。							
燃料残量							
エンジンオイルの量を点検する。							
エアフィルタを点検する。							
冷却フィンを清掃する。							
エンジンからの異常音							
運転操作時の異常音							
リールとベッドナイフの摺り合わせ							
刈高							
塗装傷のタッチアップ修理を行う。							
機体の清掃							

要注意個所の記録

点検担当者名□		
内容	日付	記事

メンテナンス前の手順

整備作業のための準備

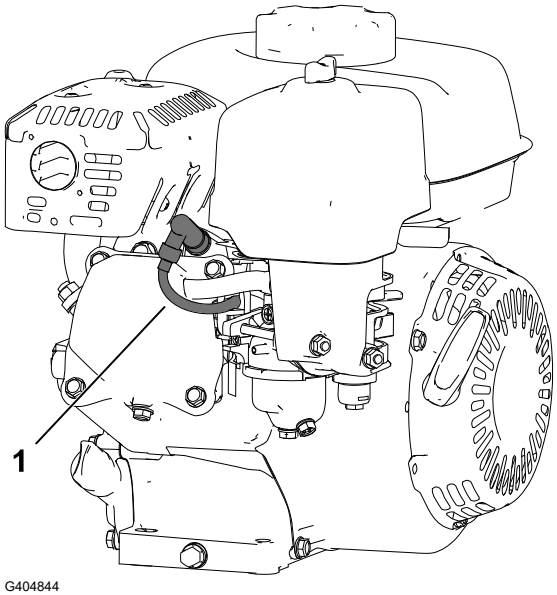
警告

整備中や**調整中**に**誰**かが**不用意**にエンジンを**作動**させることがあり**得**る。エンジンが**突然始動**すると、**大**きな**人身事故**になる**危険**が**高**い。

整備作業の**前**には**必**クラッチベイルを**解放**し、**駐車**ブレーキを**掛**け、**念**のために**点火**プラグのコードを**外**しておくこと。また、**点火**コードは、**点火**プラグと**触**れることのないよう、**確実**に**隔離**すること。

---

1. 平らな場所に駐車する。
2. エンジンを停止する。
3. 駐車ブレーキを掛ける。
4. 機械各部の動きが完全に停止し、機体の温度が十分に下がったのを確認してから、調整、洗浄、格納、修理などの作業に掛かる。
5. 点火プラグワイヤーを外す①。



G404844

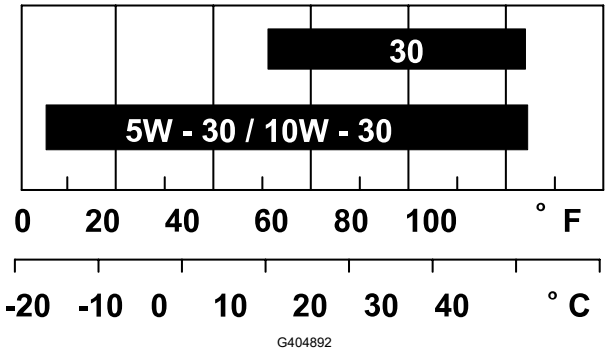
エンジンメンテナンス

エンジンの安全事項

- エンジンのガバナの設定を変えたり、エンジンの回転数を上げすぎたりしないでください。
- 燃料を口で吸い出さないでください。ポンプで抜きとるかタンクが空になるまで運転してください。燃料タンクからの燃料の抜き取り作業は屋外で行う。

エンジンオイルの**仕様**

クランクケース**容量**□	0.56 L
オイルの**種類**□	API分類SJ以降。
オイル**粘度**□	周囲温度に応じてオイルの粘度を下表から選択してください。 **注**□ マルチグレードオイル (5W-30 および10W-30) を使うと、オイル消費量が増加します。これらのオイルを使用する場合は、ご注意ください。

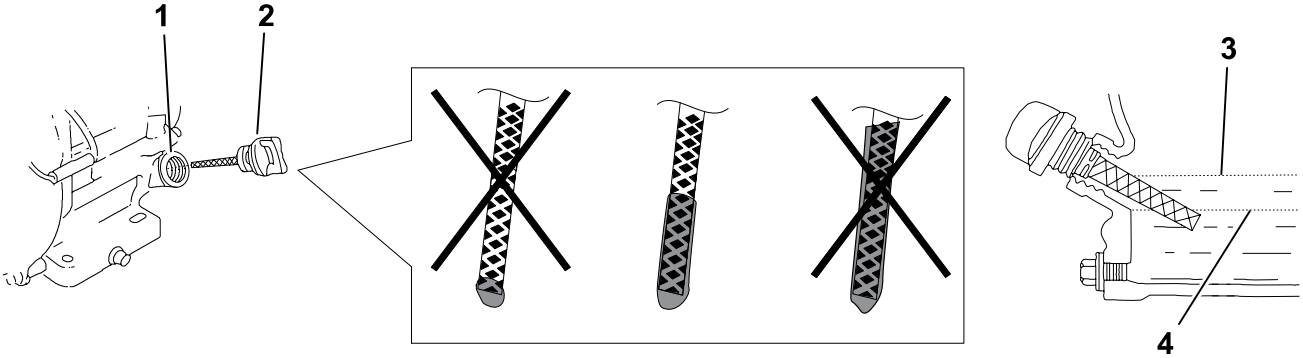


G404892

エンジンオイルの**量**を**点検**する

エンジンオイルの点検は、毎日始動前のエンジンの冷えている時に行うのがベストです。運転後に行う場合は、オイルがオイル溜めに戻るまで最低10分間待って点検するようにしてください。

1. エンジンを止め、各部が完全に停止するのを待つこと。
2. エンジンが水平になるようにマシンを止め、オイル充填チューブ①の周囲を清掃する。



G404893

3. オイルゲージ②を反時計回りに回して取り外す。
4. ディップスティックを抜き取ってウェスでオイルを拭き取る。
5. ディップスティックを補給管に完全に差し込む が、ねじ**込**まない。
6. レベルゲージを取り外し、エンジンオイルレベルを確認する。
7. エンジンオイルのレベルが正しくない場合は、オイルを追加または排出してレベルを修正する。

   注□ オイルレベルがオイルゲージの下限マーク④付近またはそれ以下の場合は、上限マーク③□注油穴の下端□まで油面が上がるのに十分な量の指定オイルを追加する。

エンジンオイルの交換

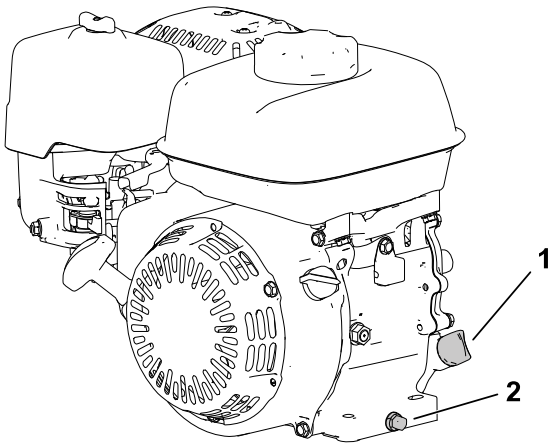
警告

エンジン**運転直後**にはオイルが**非常**に**高温**になっている**可能性**がある。**高温**のオイルに**触**れると**大変危険**である。

オイルを**抜き取**るときに、**高温**のエンジンに**触**れないように**注意**すること。

1. エンジンを止め、各部が完全に停止するのを待つ。
2. ドレンプラグ①の下に受け皿を置いてオイルを受け止める。
3. ドレンプラグ、ワッシャー①、レベルゲージ②を取り外す。
4. オイルが抜けやすいようにエンジンを傾ける。
5. オイルが完全に抜けたら、エンジンを水平位置に戻し、ドレンプラグと新しいワッシャを取り付ける。

   注□ 廃油はリサイクルセンターに持ち込むなど適切な方法で処分してください。



G404894

6. オイル補給口から、オイルをゆっくりと所定レベルまで入れる。
7. オイルがレベルゲージで正しいレベルにあることを確認する。
8. ディップスティックを根元までねじ込む。
9. こぼれたオイルはふき取る。
10. 点火コードを接続する。

エアクリーナの整備

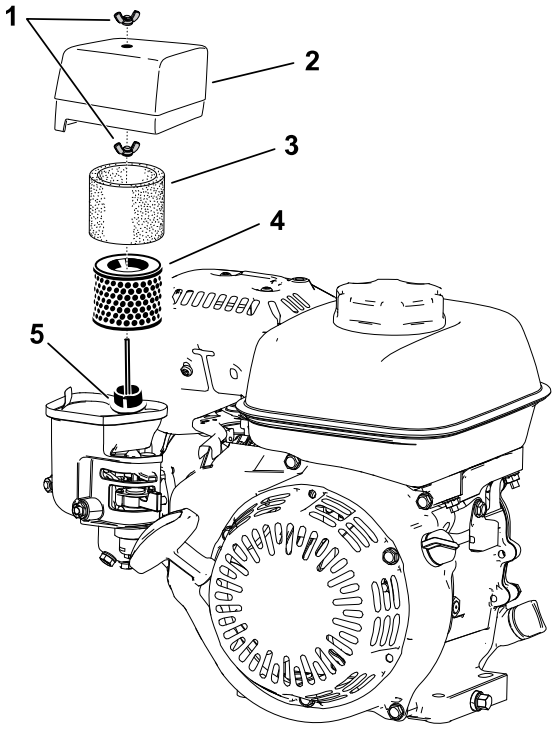
重要

エアフィルタアセンブリを**外**したままでエンジンを**運転**しないでください。エンジンに**大**きな**損傷**が**起**きる**恐**れがあります。

1. エンジンを止め、各部が完全に停止するのを待つこと。

エアクリーナの整備 □続き□

2. エアクリーナーカバー②を固定している蝶ナット①を外す。
3. エアクリーナカバーを外す。



重要

エアクリーナカバーからベースにごみやほこりが**落**ちていないか**点検**する。

4. ベースからフォームエレメント③とペーパーエレメント④を取り外す。
5. ペーパフィルタからスポンジエレメントを外す。
6. スポンジエレメントとペーパーエレメントを点検する□汚れがひどかったり破損している場合は交換する。
7. ペーパーエレメントを軽くたたいて、たまっているごみを落とす。

重要

ペーパーエレメントの**汚**れ**落**としにはブラシを**使**わないでください。**繊維**の**中**に**汚**れを**押**しこんでしまいます。ペーパーエレメントを**軽**くたたいて、たまっているごみを**落**とす。

8. スポンジはぬるま湯と石鹸で洗うか、非引火性の溶剤で洗浄する。

重要

スポンジエレメントの**洗浄**にはガソリンを**使**わないでください。**爆発炎上**する**危険**があります。

エアクリーナの整備 □続き□

9. スポンジエレメントを十分にすすいで完全に乾燥させる。
10. ベースとカバーについている汚れをぬらしたウェスでふき取る。

重要

キャブレターにつながるエアダクト⑤にゴミやカスが**入**らないようにしてください。

11. エアクリーナに各エレメントを確実に取り付ける。 下側の蝶ナットを取り付ける。
12. カバーを取り付け、 上側の蝶ナットを取り付けて固定する。

点火プラグの整備

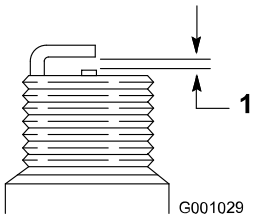
点火プラグはNGK BPR 6ES又は同等品を使用します。

1. エンジンを止め、各部が完全に停止するのを待つこと。
2. 点火プラグの周囲をきれいにする。
3. シリンダヘッドから点火プラグを外す。

重要

汚れその**他**の**不具合**のある**点火**プラグは**交換**してください。 **点火**プラグにサンドブラストをかけたり、ナイフ**状**のもので**削**ったり、ワイヤブラシで**清掃**したりしないでください。 **破片**がシリンダ**内**に**落**ちてエンジンを**損傷**します。

4. プラグ①のギャップは0.7□0.8mmに設定してください。
5. 点火プラグを注意深く□ねじ山をナメらないように□、手で出来るだけ固く取り付ける。
6. 新しい点火プラグの場合はそこから ½ 回転だけ増し締めする□使用中のプラグの場合は ⅛-¼ 回転だけ増し締めする。



重要

点火プラグの**締め付**けがゆるいと**非常**に**高温**となりエンジンを**損傷**します□**締め付**けすぎはエンジンのねじ**溝**を**損傷**します。

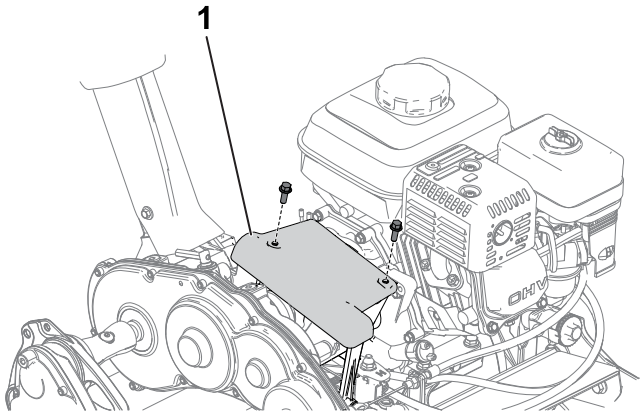
7. 点火コードを接続する。

メンテナンスをコントロールする

走行ケーブルの調整

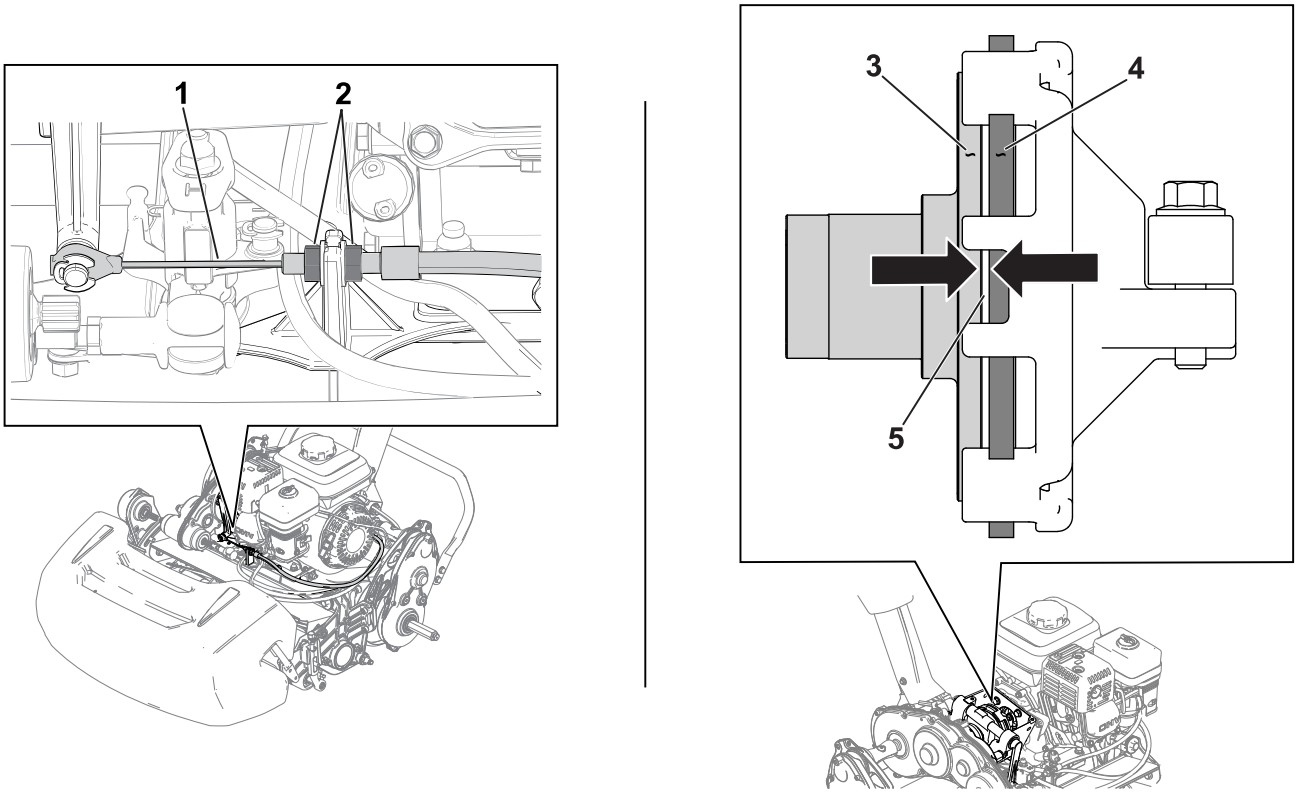
走行ケーブルは、フリクションディスクとプレッシャプレートとの間のすきまが 1.1 mm になるように調整してください。

1. クラッチカバー①を取り外して、フリクションディスクとプレッシャープレートにアクセスする。



G404910

2. ジャムナット②を緩め、フリクションディスク③とプレッシャープレート④の間に1.1 mmの隙間⑤ができるようにトラクションケーブル①を調整する。



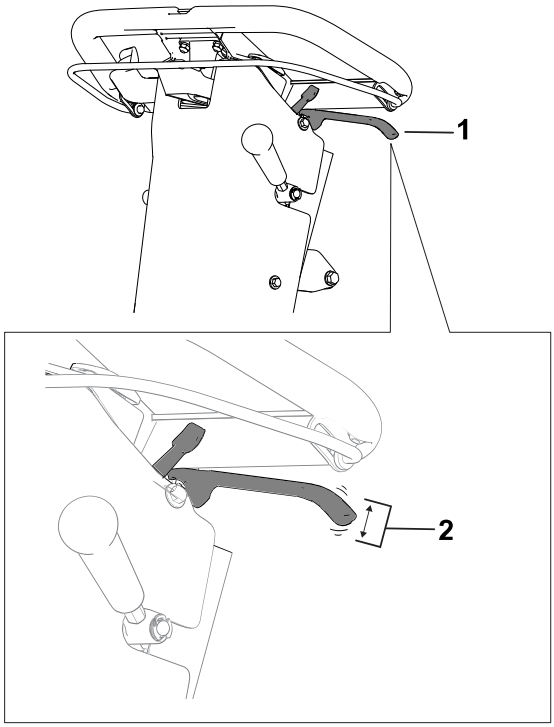
G404911

常用□駐車ブレーキの調整

運転中にブレーキ□常用・駐車□がスリップするようになったら調整してください。

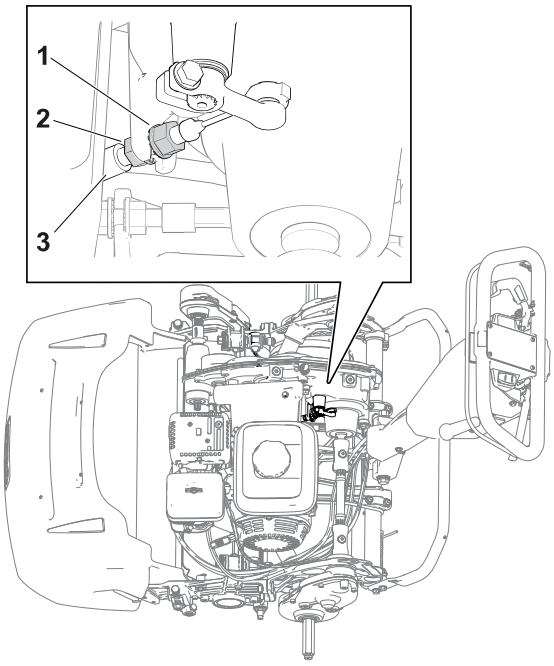
1. 駐車ブレーキを解除する。
2. 駐車ブレーキハンドル①端の遊びを測定する。

   ②ハンドルの遊はび12.7 □ 25.4 mm である必要がある。遊びがこの範囲内にない場合は、次の手順に進み、ブレーキケーブル③を調整する。



G404912

3. 以下の要領でブレーキケーブルの張りの調整を行う□
   - ケーブルの張力を高めるには、前側のケーブルジャムナット①を緩め、後側のジャムナット②を締める。前の手順を繰り返し、必要に応じて張力を調整する。
   - ケーブルの張力を弱めるには、後側のケーブルジャムナット②を緩め、前側のジャムナット①を締める。前の手順を繰り返し、必要に応じて張力を調整する。



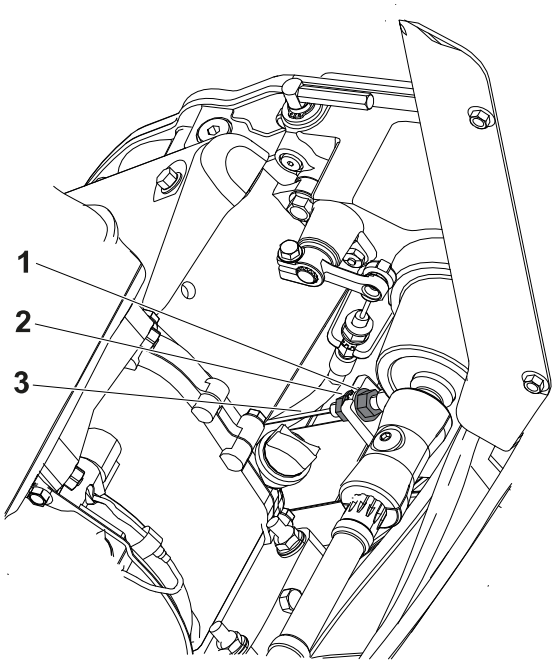
G404913

リール制御ケーブルの調整

リールコントロールケーブル③を調整して余分なたるみを取り除く。

リール制御ケーブルの調整 □続き□

1. リールスピードコントロールノブを高速リールスピードの位置に動かす。
2. 後側のジャムナット①を緩め、前側のジャムナット②を締める。



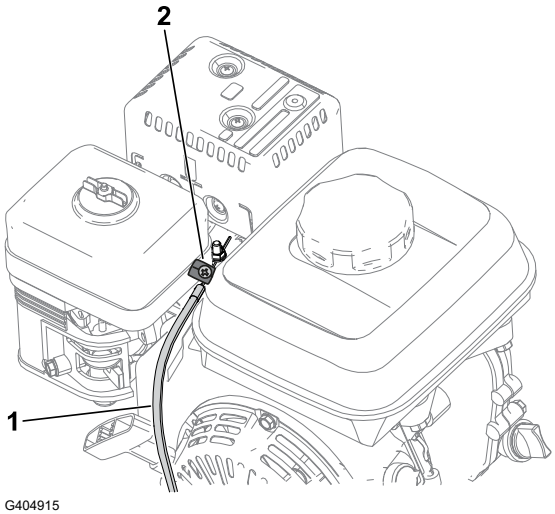
G404914

スロットルケーブルを調整する

エンジン速度□低速□の調整

1. 平らな場所に停車して駐車ブレーキを掛ける。
2. エンジンが通常の動作温度であることを確認する。
3. エンジンを始動し、スロットルコントロールでローアイドルに設定する。
4. タコメーターを使って、ローアイドル時のエンジン回転数をチェックする。

   ローアイドルの理想範囲□**1,800 - 2,000 rpm**。
5. スロットルケーブル①の導管クランプ②を緩める。
6. ケーブルコンジットの位置を調整して、エンジン速度が 1,900 rpm となるようにする。
7. ケーブルコンジットのクランプのねじを締め付ける。



G404915

スロットルケーブルを**調整**する □**続き**□

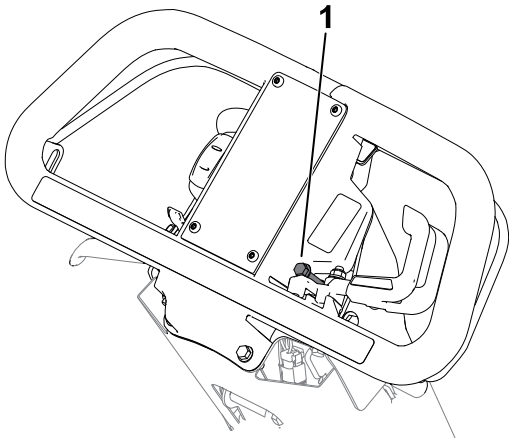
エンジン**速度**□**高速**□**の調整**

1. 平らな場所に停車して駐車ブレーキを掛ける。

   注□ エンジンが通常の運転温度に達したことを確認してから調整を行うようにしてください。
2. エンジンを始動し、スロットルコントロールでハイアイドルに設定する。
3. タコメーターを使って、ハイアイドル時のエンジン回転数をチェックする。

   ハイアイドル□CE 諸国を除く□の理想範囲□**3,350-3,550 rpm**。タコメーターが3,350 rpm未満または3,550 rpmを超える回転数を示している場合は、回転数が3,350□3,550 rpmの間に達するまで、この手順の次のステップを実行する。
4. エンジンを停止する。
5. タコメーターのハイアイドル表示値に従ってスロットルコントロールストップ①を調整する。
   - ハイアイドル速度を**高**くするには、ストップを**上**げる。
   - ハイアイドル速度を**低**くするには、ストップを**下**げる。
6. エンジンを始動させ、ハイアイドルの設定を確認する。

   タコメーターが適切な回転数を示していれば調整は完了。



G440782

カッティングユニットの**保守**

刃物を**取扱う上**での**安全確保**

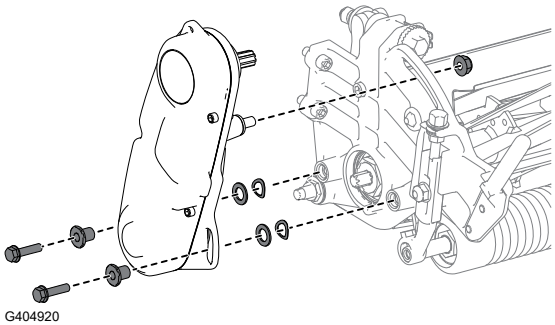
- カッティングユニットのリールを点検する時には安全に十分注意してください。リールに触れる時は必ず手袋を着用してください。
- 磨耗したり破損したりしたリール刃や下刃は使用中に割れて破片が飛び出す場合があり、これが起こるとオペレータや周囲の人間に多大の危険を及ぼし、最悪の場合には死亡事故となる。
- リール刃や下刃が磨耗や破損していないか定期的に点検すること。
- ブレードの点検を行うときには安全に十分注意すること。必ず手袋を着用してください。リールと下刃は研磨するか交換するかのみ行い、たたいて修復したり溶接したりしないでください。

カッティングユニットを**取り付**ける

カッティングユニットを**取り付**ける

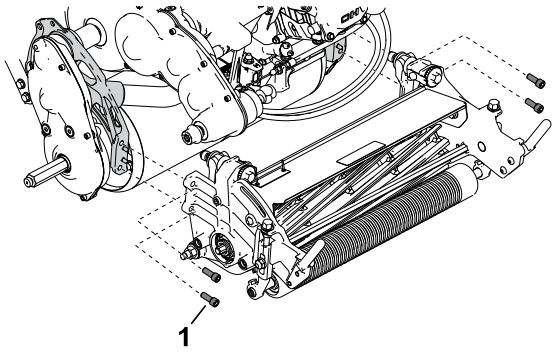
モデル04820のみ

1. キックスタンドをカッティングユニットサービス位置に移動する。
2. リールドライブアセンブリをサイドプレートに固定しているハードウェアを取り外す。
3. サイドプレートからリールドライブアセンブリ、平ワッシャー、スプリングワッシャー、スペーサーを取り外す。
4. カッティングユニットをフレームに合わせる。



G404920

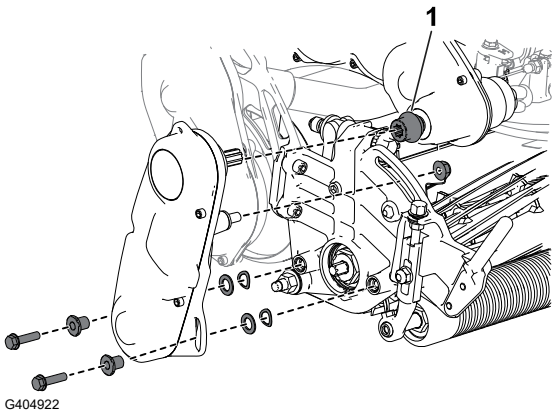
5. カッティングユニットをフレームに固定するには、六角穴付ネジ4本①を使用する。



G404921

6. 前に取り外した六角穴付ネジ、ワッシャー、およびスペーサーを使って、リールドライブアセンブリをカッティングユニットのサイドプレートに固定する。

   リールドライブアセンブリのドライブシャフトがトランスミッションドライブシャフトカプラー①に取り付けられていることを確認する。



G404922

カッティングユニットを**取り付**ける

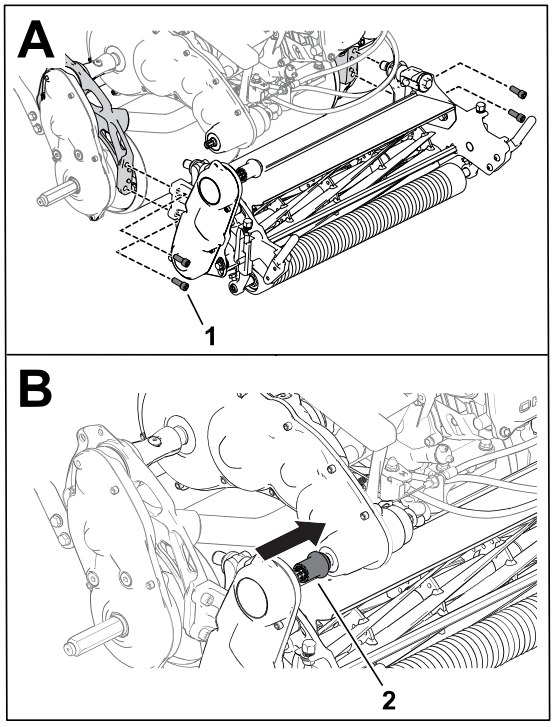
モデル04830および04840のみ

1. キックスタンドをカッティングユニットサービス位置に移動する。
2. カッティングユニットをフレームに合わせる。

カッティングユニットを**取り付**ける □**続き**□

3. カッティングユニットをフレームに固定するには、六角穴付ネジ4本①を使用する。
4. トランスミッションドライブシャフトにカッティングユニット駆動カプラー②を取り付ける。

   カップラがシャフトにスムーズに納まればよい。抵抗がある場合は、リールドライブシャフトとトランスミッションドライブシャフトのアラインメントが合っているか確認する。
5. 集草バスケットを取り付ける

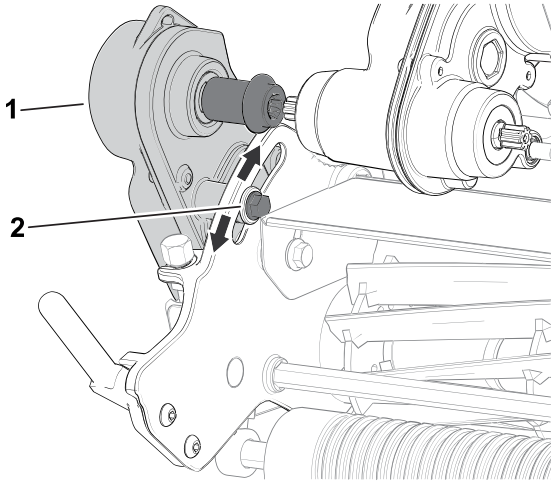


G404923

リール**駆動**シャフトの**位置**を**調整**する

注□ カッティングユニットを取り付ける際、カプラーとドライブシャフトの間に抵抗を感じる場合は、この手順でドライブシャフトを調整する。

1. ボルトを緩める②
2. リールドライブシャフトがトランスミッションドライブシャフトのアライメントが適切になるように、リールドライブアセンブリ①を回転させる。
3. 先ほどゆるめたボルトを締め付ける。



G404925

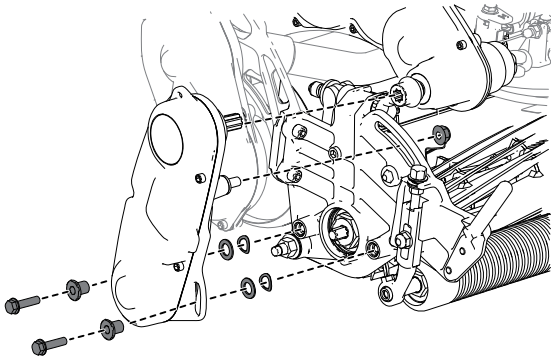
抵抗が続く場合は、エンジンとトランスミッションのアライメントを調整する。詳細はトラクションユニットサービスマニュアルの調整手順を参照方。

カッティングユニットの**取り外し**

カッティングユニットの**取り外し**

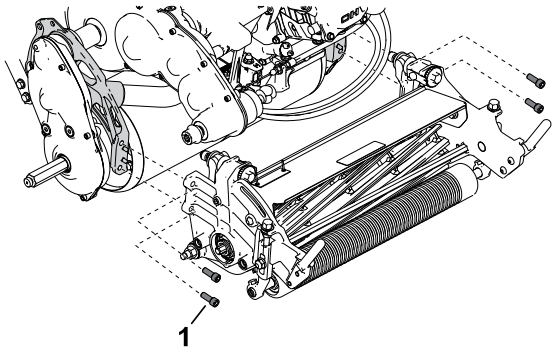
モデル04820のみ

1. キックスタンドをカッティングユニットサービス位置に移動する。
2. 集草バスケットがついている場合には取り外す。
3. リールドライブアセンブリをカッティングユニットのサイドプレートから取り外し、ハードウェアを保持しておく。



G404926

4. カッティングユニットをフレームに固定している六角穴付ネジ①を取り外す。
5. カッティングユニットを取り外す。



G404927

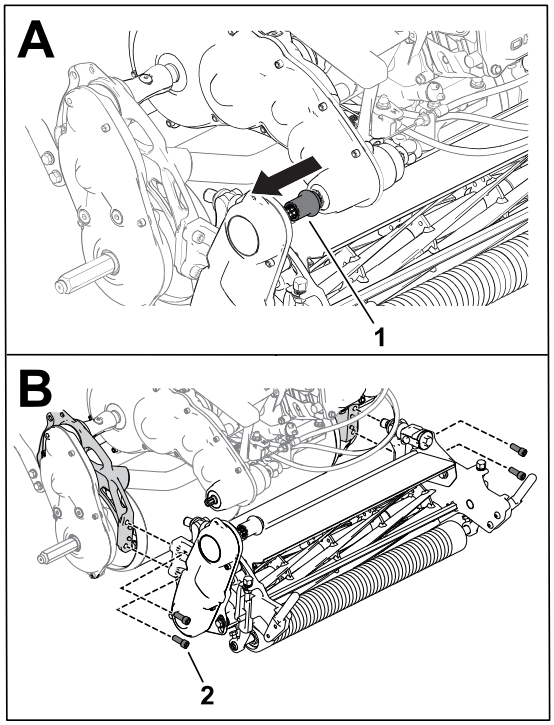
カッティングユニットの**取り外し**

モデル04830および04840のみ

1. キックスタンドをカッティングユニットサービス位置に移動する。
2. 集草バスケットがついている場合には取り外す。

カッティングユニットの**取り外し** □**続き**□

3. トランスミッションドライブシャフトからカッティングユニット駆動カプラー①を取り外す。
4. カッティングユニットをフレームに固定している六角穴付ネジ②を取り外す。
5. カッティングユニットを取り外す。



G404928

バックラッピング**情報**

キット**名**/モデル	**互換性**のあるトラクションユニット
アクセスバックラップキット□モデル 139-4342□	モデル 04820, 04830, 04840
バックラップキット□モデル 04800□	モデル 04830, 04840

各キットの 取り付け要領書にある操作手順を参照のこと。 これらのキットのいずれかを入手するには、正規Toro代理店に問い合わせてください。

格納保管

格納保管時の安全確保

- エンジンを停止させ、□キー付きの機種では□キーを抜き取り、各部の動作が完全に停止したのを確認してから運転位置を離れる。調整、整備、洗浄、格納などは、機体が十分に冷えてから行ってください。
- ガス湯沸かし器のパイロット火やストーブなど裸火や火花を発するものがある近くでは、機械や燃料容器を保管･格納しないでください。

マシンの保管

1. 機体各部に付着している泥や刈りかすをきれいに落とす。特にエンジンのシリンダヘッドや冷却フィン部分やブロアハウジングを丁寧に清掃する。

重要

機体は**中性洗剤**と**水**で**洗**うことができます。ただし**高圧洗浄器**は**使用**しないでください。また、シフトレバーのプレートやエンジン**部**に**大量**の**水**を**掛**けないように**注意**してください。

2. 長期間□30日間以上□にわたって保管する場合には燃料タンクのガソリンにスタビライザ□コンディショナを添加する。
   A. エンジンをかけ、5 分間ほどかけてコンディショナ入りの燃料を各部に循環させる。
   B. エンジンを停止してガソリンを抜き取る。または燃料切れで停止するまで運転する。
   C. エンジンを再度始動して自然に停止するまで運転する。チョークを引いて再始動する。まったく始動できなくなるまでこれを続ける。
   D. 点火プラグのコードを外す。
   E. 抜き取った燃料は地域の法律などに従って適切に処分する。廃油などはそれぞれの地域の法律などに従って適正に処分する。

   注□ スタビライザ□品質安定剤□を添加した燃料であっても、スタビライザメーカーが推奨する保管期間を越えて保管しないでください。
3. 機体各部のゆるみを点検し、必要な締め付けや交換、修理を行う。摩耗した部品や破損した部品はすべて修理または交換する。
4. 機体の塗装がはげていればタッチアップ修理をする。ペイントは正規Toro代理店から入手可能。
5. 汚れていない乾燥した場所で保管する。機体にはカバーを掛けておく。

Toro保証

2 年間または1,500時間の限定保証

保証条件および保証製品

Toro社は、Toroの販売製品 (「製品」) を保証します。材料または製造上の欠陥がないことを、2年間または1,500稼働時間* のいずれか早い方を保証します。この保証はエアレータを除くすべての製品に適用されます□エアレータに関する保証については該当製品の保証書をご覧下さい□。 この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。この保証は、製品が最初の小売購入者に引き渡された日から起算されます。*アワーメーターを搭載した商品。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われた場合には、「製品」を納入した弊社代理店□ディストリビュータ又はディーラー□ に対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department

8111 Lyndale Avenue South

Bloomington, MN 55420-1196

952-888-8801 or 800-952-2740

E-mail: commercial.warranty@toro.com

オーナーの責任

製品のオーナーは、オペレーターズマニュアルに記載された整備や調整を実行する責任があります。必要な整備や調整を怠ったことが原因で発生した不具合などの問題点はこの製品保証の対象とはなりません。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません□

- Toroの純正交換部品以外の部品を使用したことまたはToroの純正部品以外のアクサセリや製品を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。
- 推奨された整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 製品を使用したことによって消耗した正常なパーツ通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレーキパッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローラおよびベアリング□シールドタイプ、グリス注入タイプ共□、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャスタホイール、ベアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、この他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、フローメータ、チェックバルブが含まれます。
- 以下のような外部要因が原因で発生する不具合□天候、格納保管条件、異物、不適切な燃料、冷却液、潤滑剤、添加物、水、薬品などの使用。
- 適正な燃料□ガソリン、軽油、バイオディーゼルなど□を使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。
- 通常の使用に伴う運転音や振動、汚れや傷、劣化。汚れや傷これには、磨耗や擦り傷によるシートの損傷、磨耗した塗装面、ステッカーや窓の傷などが含まれますが、これらに限定されません。

部品

定期整備に必要な部品類□「部品」□は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって取り付けられた部品は、この製品保証により保証期間終了まで保証され、取り外された部品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかの判断は弊社が行います。弊社が保証修理のために再製造した部品を使用する場合があります。

ディープサイクルバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーの保証

ディープサイクルバッテリーやリチウムイオンバッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量□kWh□が決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。 バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。

注□ (リチウムイオン電池のみ) 詳細については、電池の保証書を参照してください。

クランクシャフトのライフタイム保証□プロストライプ 02657 モデルのみ□

トロ社の純正摩擦ディスクおよびクランク安全ブレードブレーキクラッチ□統合ブレードブレーキクラッチ□BBC□□摩擦ディスクアセンブリ□を当初から搭載し、当初の購入者様がトロ社の推奨する運転方法および定期整備を遵守してご使用されたプロストライプ製品には、クランクシャフトの曲がり不具合に対するライフタイム保証が適用されます。摩擦ワッシャ、ブレードブレーキクラッチ□BBC□その他のデバイスを搭載した製品には、このクランクシャフトのライフタイム保証は適用されません。

メンテナンスはオーナー負担

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらに関わる費用はオーナーが負担します。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

Toro 社は、**本製品**の**使用**に**伴**って**発生**しうる**間接的偶発的結果的損害**、**例**えば**代替機材**に**要**した**費用**、**故障中**の**修理関連費用**や**装置不使用**に**伴**う**損失**などについて**何**らの**責**も**負**うものではありません。**当社**の**保証責任**は**上記**の**交換**または**修理**に**限**らせていただきます。その**他**については、**排気**ガス**関係**の**保証**を**除**き、**何**らの**明示的**な**保証**もお**約束**するものではありません。**商品性**や**用途適性**についての**黙示的内容**についての**保証**も、**本保証**の**有効期間中**のみに**限**って**適用**されます。

米国内では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また黙示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合もあります。

排ガス保証についてのご注意

米国においては環境保護局□EPA□やカリフォルニア州法□CARB□で定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧下さい。

米国、メキシコ、カナダ以外のお客様へ

米国、メキシコまたはカナダから輸出されたToro製品を購入した顧客は、Toro代理店 (ディーラー) に連絡して、国、または県の保証ポリシーを取得する必要がある。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は弊社の正規サービスセンターにご相談ください。

カリフォルニア州プロポジション65に関する警告情報

この警告は何ですか?

以下のような警告ラベルが貼られた製品を見かけることがあるでしょう□

警告□ガンおよび先天性障害の恐れ —www.p65Warnings.ca.gov.

Prop 65とは何のことですか?

第65号決議は、カリフォルニア州で操業している企業、製品を販売している企業、カリフォルニア州で販売または同州に持ち込まれる可能性のある製品のメーカーを対象とした法律です。この法律では、ガン、先天性などの出生時異常の原因となることが知られている化学物質の一覧をカリフォルニア州知事が作成維持しこれを公表しなければならないと定められています。危険物リストは、日常の生活の中で使用するものから発見された数百種類の化学物質を網羅しており、毎年改訂されます。第65号決議の目的は、こうした物質に触れる可能性があることを市民にきちんと知らせることです。

第65号決議は、こうした物質を含む製品の販売を禁じているのではなく、そうした製品、製品の包装、製品に付属する文書などに警告を明記することを求めています。また、こうした警告があるからといって、その製品が何等かの安全基準に違反しているということではありません。実際、カリフォルニア州政府は、Prop 65の警告は「製品が『安全』か『安全でないか』という規制当局の決定と同じではない」と明言しました。こうした物質の多くは、様々な生活用品に何年も前から使用されてきておりますが、それらの物質が今までに何らかの健康問題を起こしたという記録はありません。さらに詳しい情報はこちらへ□https://oag.ca.gov/prop65/faqs-view-all.

Prop 65の警告は、企業が (1) 暴露を評価し、「重大なリスクレベルなし」を超えていると結論付けたことを意味するか、(2) 暴露の評価を試みることなく、リストに記載された化学物質の存在に関する理解に基づいて警告を提供することを選択したことを意味します。

この法律はどこにでも適用されますか?

第65号決議警告はカリフォルニア州でのみ要求される法律です。第65号決議警告はカリフォルニア州のいたるところで目にすることができます。レストラン、八百屋、ホテル、学校、病院など、そして非常に多くの製品にも、この警告が印刷されています。さらには、オンラインやメールオーダーのカタログなどにも掲載されています。

カリフォルニア州の警告は連邦政府の制限とどう違いますか?

第65号決議の内容は連邦政府の規制や国際規制よりも厳しいものが大変多いです。第65号決議の規制基準値は連邦政府基準に比べてはるかに厳しく、連邦政府基準では表示義務がないが、第65号決議では表示義務があるものが数多く存在します。例えば、鉛に関する警告に対するProp 65基準は0.5 µg/日であり、これは連邦基準および国際基準を大幅に下回っています。

全ての類似製品に警告が記載されていないのはなぜですか?

- カリフォルニア州内で販売される場合には第65号決議ラベルが必要でも、他の場所で販売される場合には不要だからです。
- 第65号決議関連で裁判となった企業が、和解条件として第65号決議 警告の表示に同意したが、そうした問題に巻き込まれていない企業の製品には何も表示されていないといったこともあるでしょう。
- 第65号決議の表示は必ずしも一律に行われているわけではないのです。
- 自社内で検討した結果、第65号決議基準に抵触しないと判断して、警告の表示を行わないことを選択する企業もあります。警告が書かれていないからと言って、その製品に対象化学物質が含まれていないということは言えません。

なぜはToroはこの警告を含めているのでしょうか?

Toro では、十分な情報に基づいてお客様ご自身が判断できるようにすることがベストであるという考えから、できる限り多くの情報をお客様に提供することとしております。リスト記載物質のいくつかが自社製品に該当する場合、Toro では、それらの物質のほとんどの量はごくわずかであって実際の表示義務はないことを認識した上で、排出量などを厳密に評価することなく、警告を表示するという判断をすることがあります。Toro製品からの曝露はごくわずかであるか、「重大なリスクはない」範囲内である可能性があるためですか範囲内でも、トロは十分な注意を払って、Prop 65 の警告を提供することを選択しました。これはまた、もしToro がこうした警告を表示しなかった場合、カリフォルニア州政府や、第65号決議の施行推進を目指す民間団体などから訴訟を提起される可能性もあるということも視野に入れての判断です。